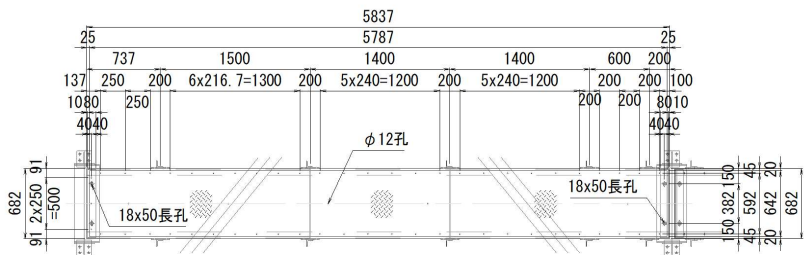
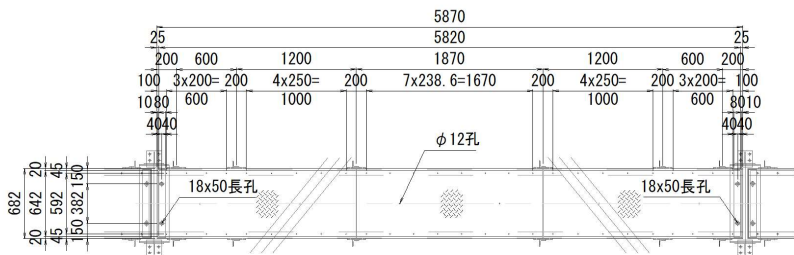


KA  
(製作数:2)  
☆印部:手摺抜け落ち防止加工



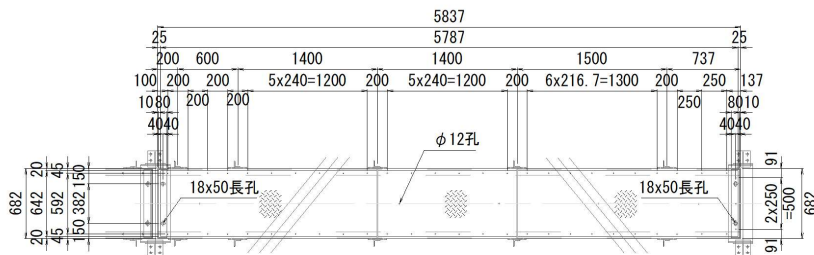
- 1 - CH PL 642 x 3.2 x 5787
- 2 - [ 125 x 65 x 6 x 8 x 5837
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 2 - FB 90 x 9 x 670
- 2 - PL 80 x 6 x 662
- 55 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
- 2 - PIPE ϕ42.7 x 2.3 x 1000 (STK400)
- 2 - PIPE ϕ42.7 x 2.3 x 5300 (STK400)
- 4 - PIPE ϕ21.7 x 1.9 x 5300 (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1658
- 6 - L 65 x 65 x 6 x 1283
- 10 - PL 105 x 9 x 200
- 40 - BN M12 x 40 (2-W)
- 14 - U.BOLT 呼び 32 (C形)
- 20 - U.BOLT 呼び 15 (C形)

KB  
(製作数:8)  
☆印部:手摺抜け落ち防止加工



- 1 - CH PL 642 x 3.2 x 5820
- 2 - [ 125 x 65 x 6 x 8 x 5870
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 2 - FB 90 x 9 x 670
- 2 - PL 80 x 6 x 662
- 52 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
- 4 - PIPE ϕ42.7 x 2.3 x 1000 (STK400)
- 2 - PIPE ϕ42.7 x 2.3 x 5870 (STK400)
- 4 - PIPE ϕ21.7 x 1.9 x 5870 (STK400)
- 8 - L 65 x 65 x 6 x 1658
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1283
- 12 - PL 105 x 9 x 200
- 48 - BN M12 x 40 (2-W)
- 20 - U.BOLT 呼び 32 (C形)
- 24 - U.BOLT 呼び 15 (C形)

KC  
(製作数:2)  
☆印部:手摺抜け落ち防止加工



- 1 - CH PL 642 x 3.2 x 5787
- 2 - [ 125 x 65 x 6 x 8 x 5837
- 2 - L 75 x 75 x 6 x 670
- 2 - FB 90 x 9 x 670
- 2 - PL 80 x 6 x 662
- 55 - BN M10 x 30 (1-W, 1-TW付)
- 2 - PIPE ϕ42.7 x 2.3 x 1000 (STK400)
- 2 - PIPE ϕ42.7 x 2.3 x 5300 (STK400)
- 4 - PIPE ϕ21.7 x 1.9 x 5300 (STK400)
- 4 - L 65 x 65 x 6 x 1658
- 6 - L 65 x 65 x 6 x 1283
- 10 - PL 105 x 9 x 200
- 40 - BN M12 x 40 (2-W)
- 14 - U.BOLT 呼び 32 (C形)
- 20 - U.BOLT 呼び 15 (C形)

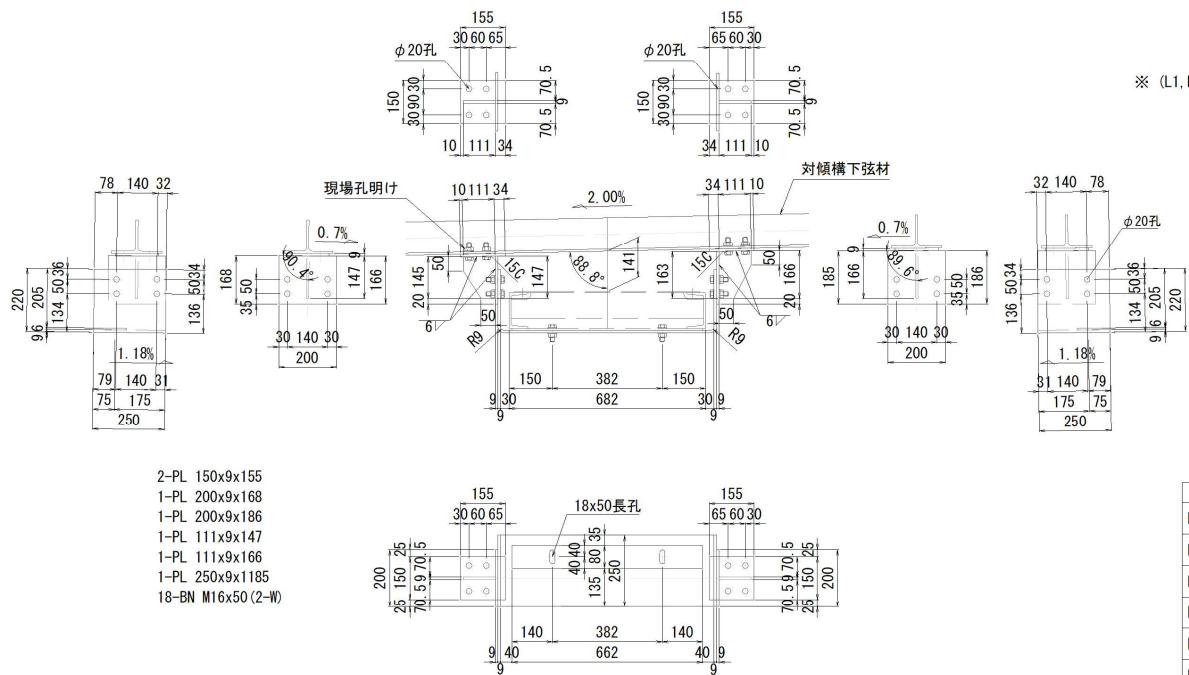
注記  
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。  
2. ナットは、全て弛み止めナットを使用すること。  
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキを施すこと。  
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55 とする。  
但しボルト・ナット類及び板厚3.2mm未満の部材は、JIS H8641 HDZ35 とする。  
4. CH.PLの水抜き孔φ12は、間隔1m程度に1箇所設けること。

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 検査路詳細図(その2)(下り線)		
	縮 尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

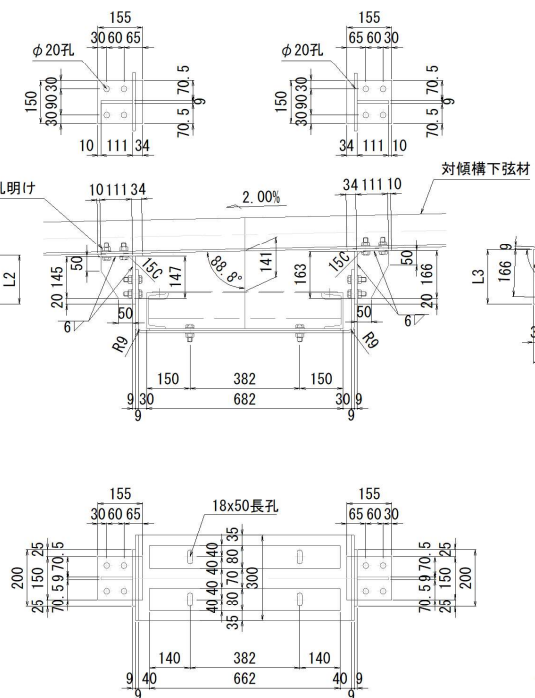
大森川橋 検査路詳細図（その3）（下り線）

60/80

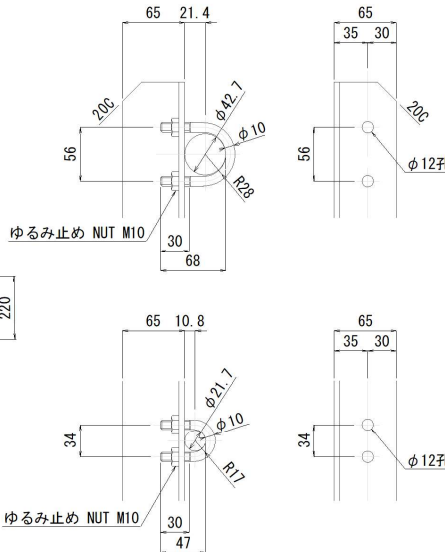
BKT-1  
(製作数:2)



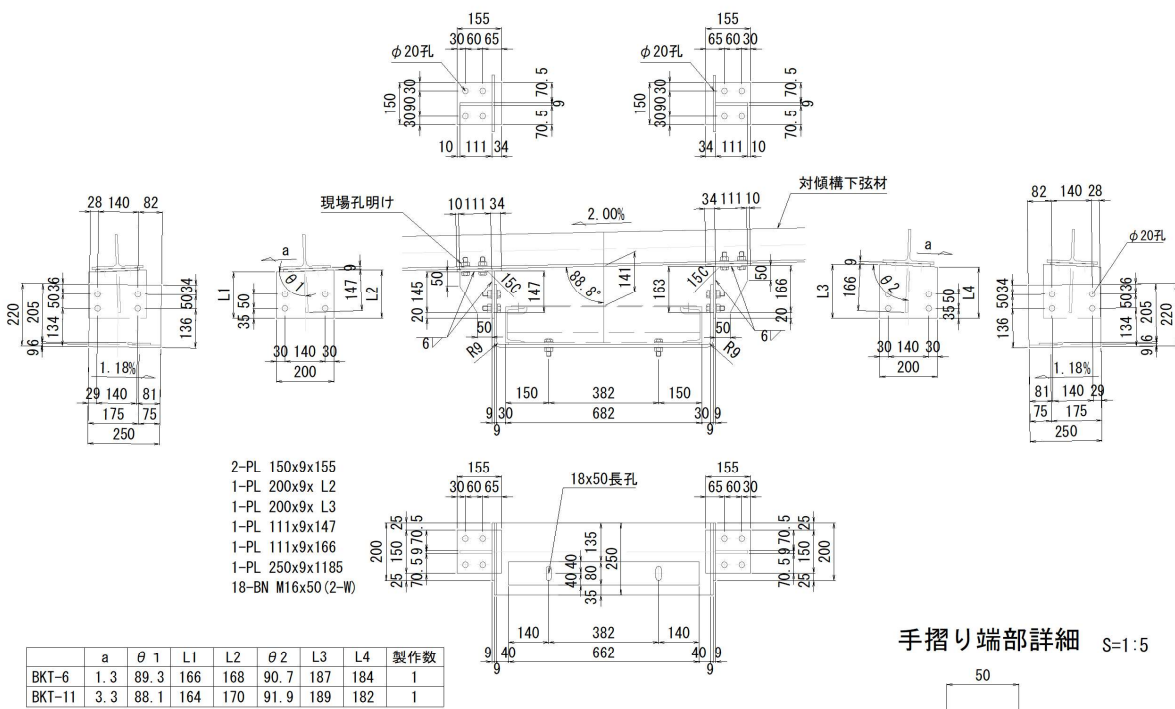
BKT-2~5, 7~10



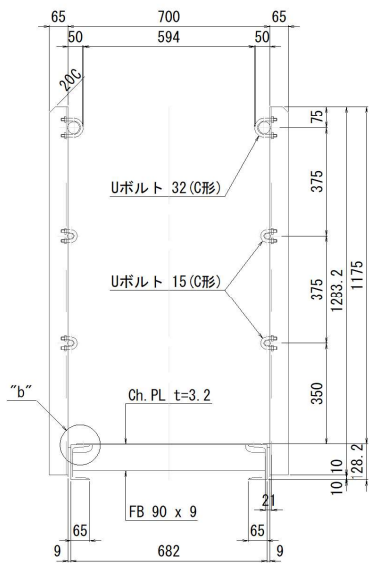
“a”部詳細 S=1:7.5



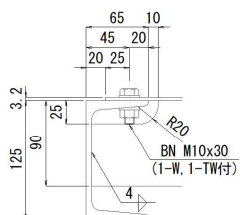
BKT-6, 11



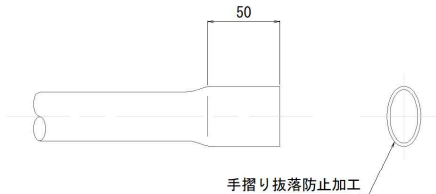
TYPE- I  
(L=1283)



“b”部詳細 S=1:7.5



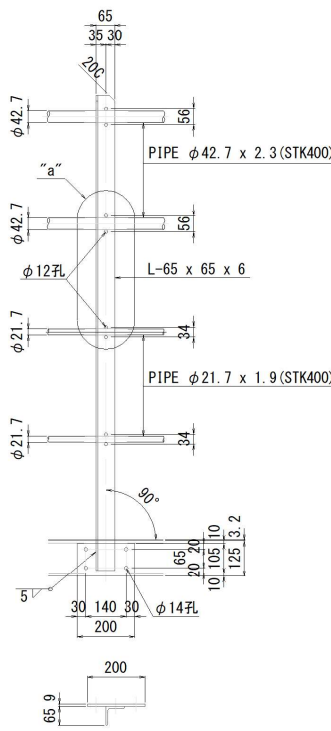
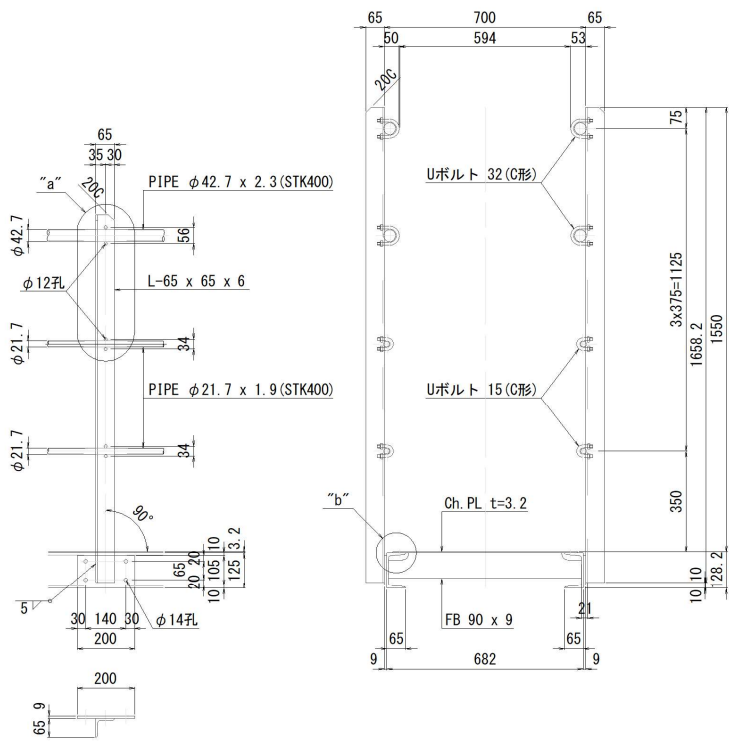
手摺り端部詳細 S=1:5



注記

1. 抜け落ち防止加工は、支柱2本で支持される手摺の両端に施すこと。

TYPE- II  
(L=1658)



- 1-PL 105 x 9 x 200  
4-BN M12 x 40 (2-W付)

注記

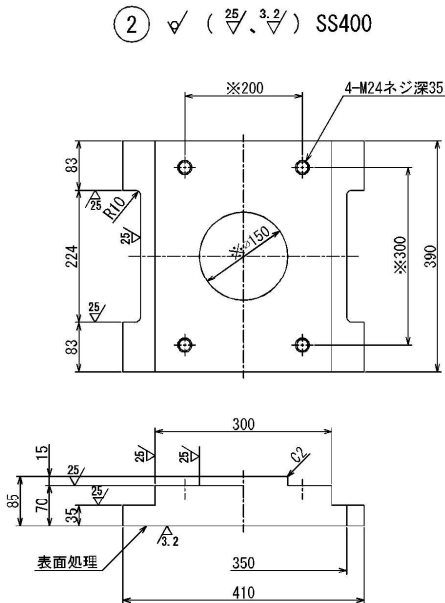
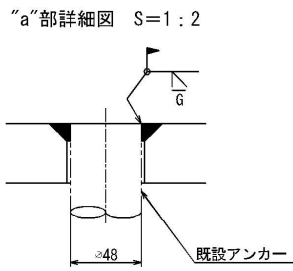
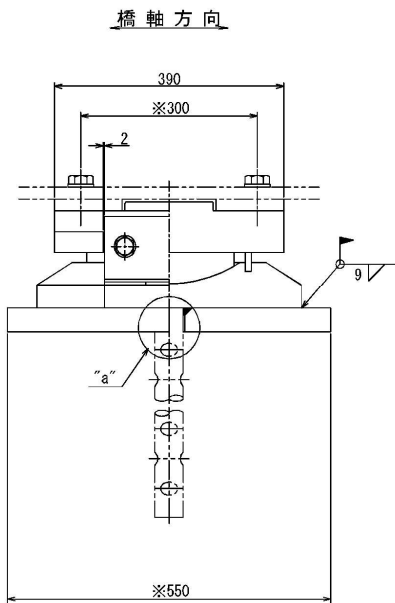
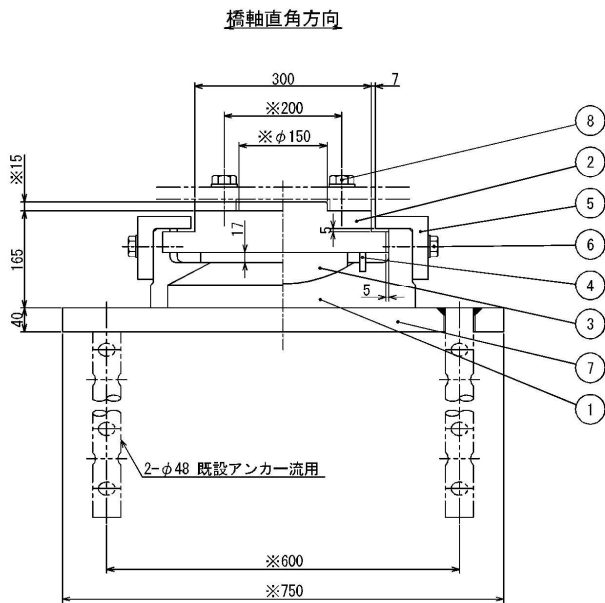
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキを施すこと。  
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55 とする。  
但しボルト・ナット類及び板厚3.2mm未満の部材は、JIS H8641 HDZ35 とする。

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 検査路詳細図(その3)(下り線)		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



大森川橋 支承取替工（その1）

A2/S7.S8 高力黄銅支承板支承（BP-A-100ton） / 固定  
（製作数：2）



固定支承設計条件（しゅん功図より）

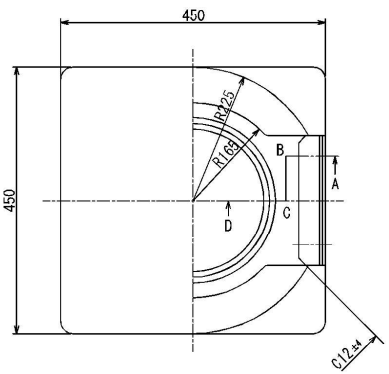
反力			
全反力	R	97.3	ton
死荷重反力	Rd	56.5	ton
活荷重反力	RL+i	40.8	ton
橋軸方向水平力（地震時）	Rh1	11.3	ton
橋軸直角方向水平力（地震時）	Rh2	11.3	ton
上揚力（地震時）	Ru	5.7	ton

材料表

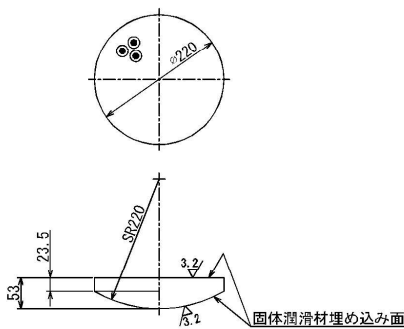
部番	品名	材質	個数	重量(kg)	備考
①	下 咨	SCW480N	1	107.7	
②	上 咨	SS400	1	72.9	
3	ベアリングプレート	CAC304+SL	1	12.1	
4	シーリング	クロロプレンゴム	1	0.3	
⑤	サイドブロック	SS400	2	11.0	
⑥	六角ボルト、座金	—	4	0.8	JIS B 1180 JIS B 1256
⑦	ベースプレート	SM490A	1	128.1	
⑧	六角ボルト、座金	—	4	1.4	JIS B 1180 JIS B 1256
全重量				334.3	(kg)
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき 付着量550g/m <sup>2</sup> 以上、350g/m <sup>2</sup> 以上（ボルト類）					

注1) 材料表の部番○印のあるものはめっきとする。  
注2) 現場溶接部は、溶接後に高濃度亜鉛末塗装のこと。  
注3) ※部寸法は現地確認のうえ決定のこと。

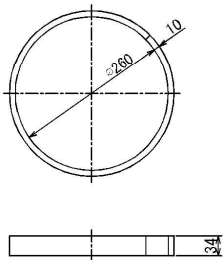
①  $\nabla$  ( $\frac{25}{\nabla}$ ,  $\frac{3.2}{\nabla}$ ) SCW480N



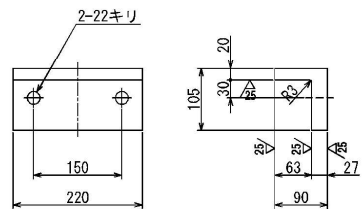
③  $\frac{25}{\nabla}$  ( $\frac{3.2}{\nabla}$ ) CAC304+SL



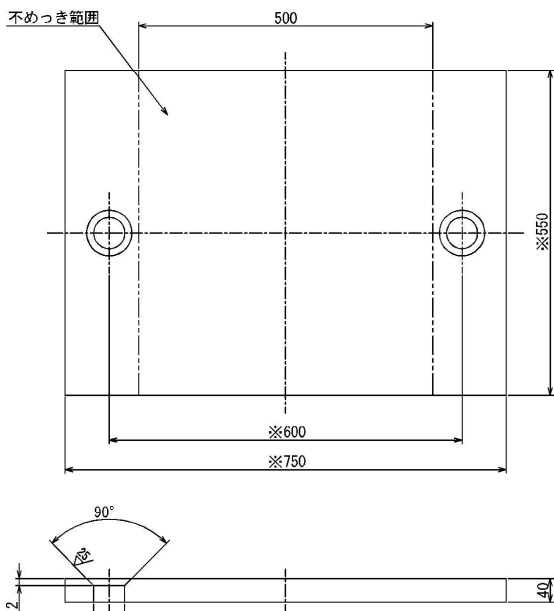
④  $\nabla$  クロロプレンゴム



⑤  $\nabla$  ( $\frac{25}{\nabla}$ ) SS400



⑦  $\nabla$  ( $\frac{25}{\nabla}$ ) SM490A

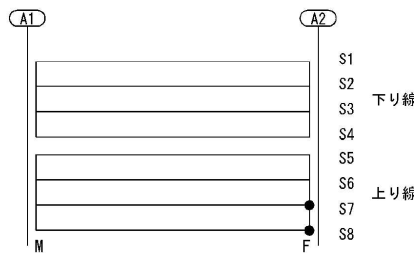


注) 不めっき範囲は、下咨取付面と穴グリ面とする。  
(開先防錆剤塗布)

⑥ 六角ボルト 中 M20x65 4.8  
(平座金付)

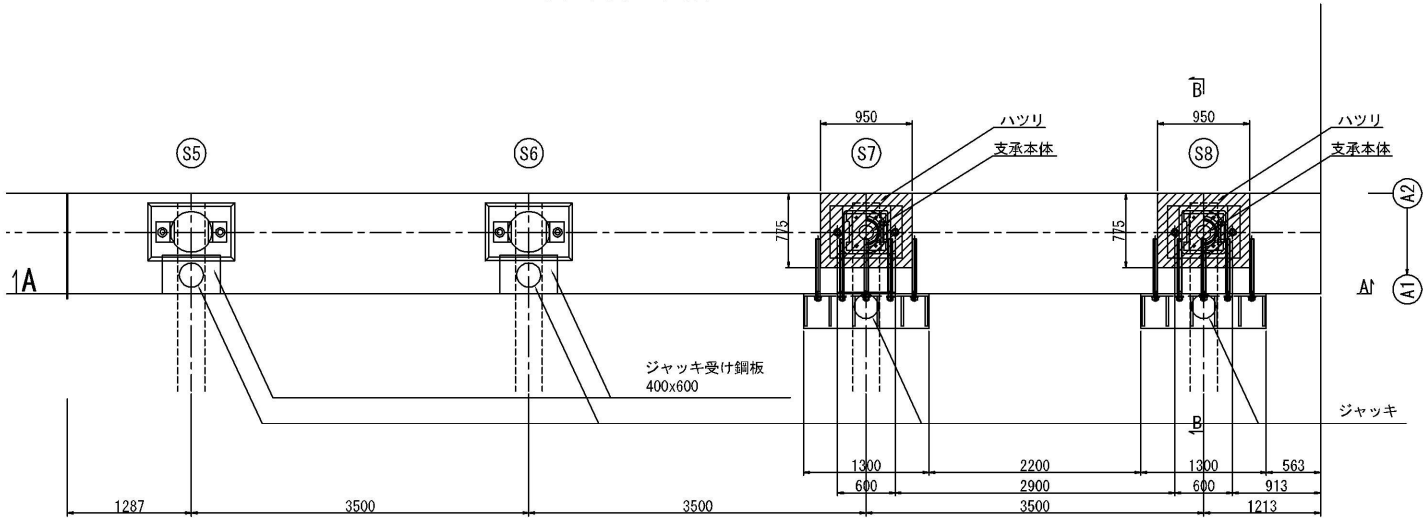
⑧ 六角ボルト 中 M24x70 4.8  
(平座金付)

配置図

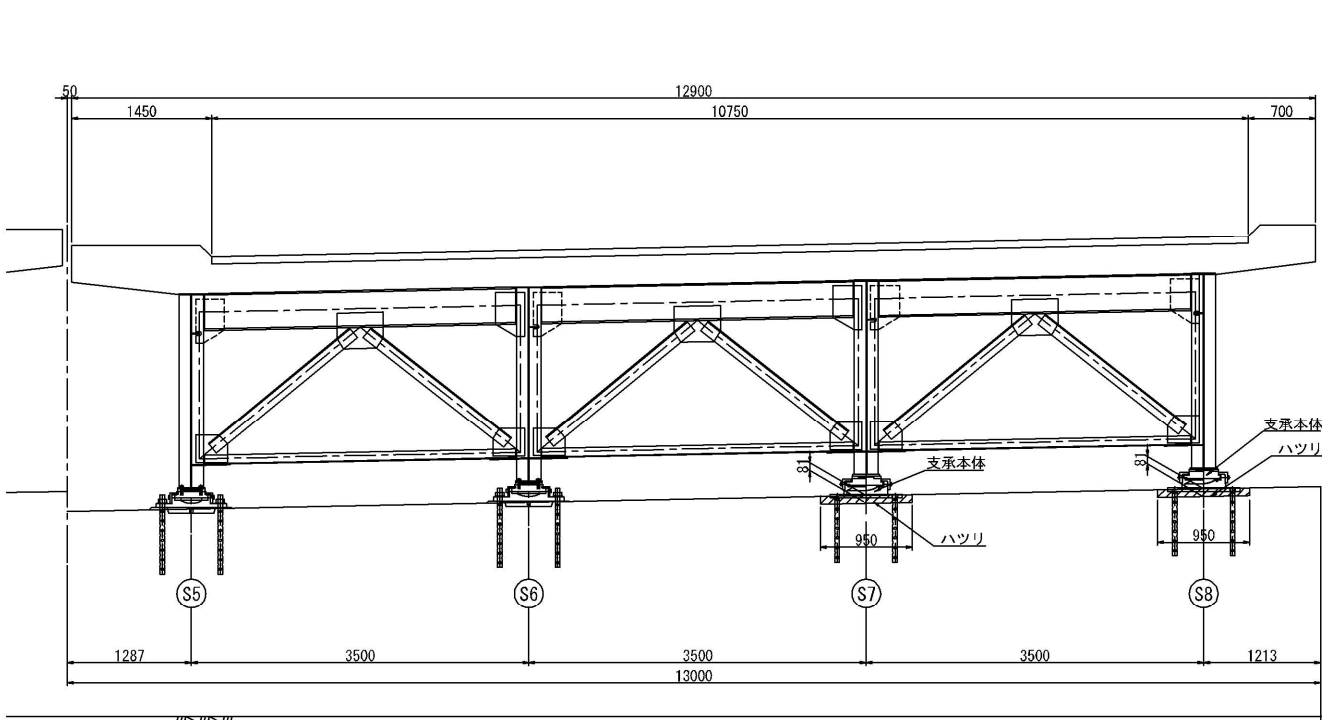


東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 支承取替工(その1)		
縮尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

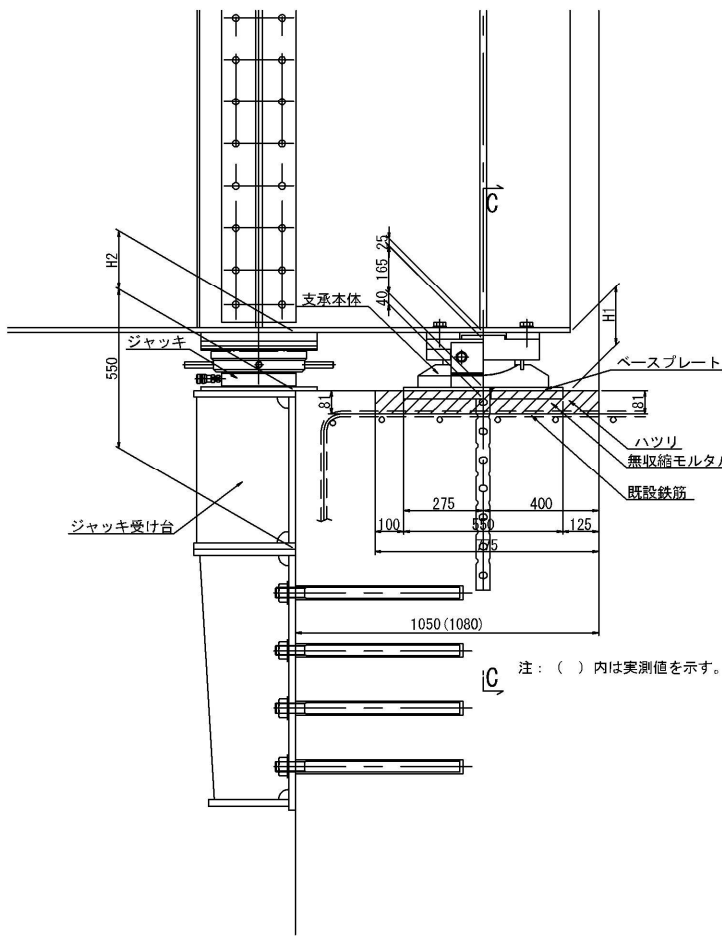
平面図(上り線) 縮尺 1:30



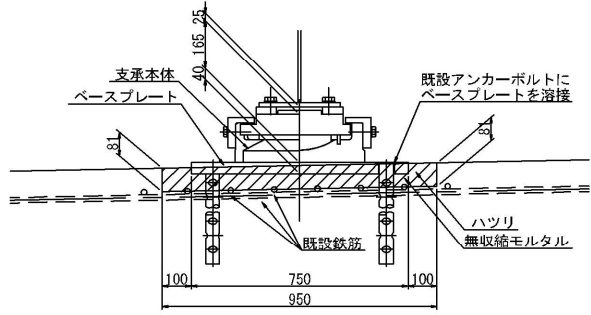
A-A 縮尺 1:30



B-B 縮尺 1:10

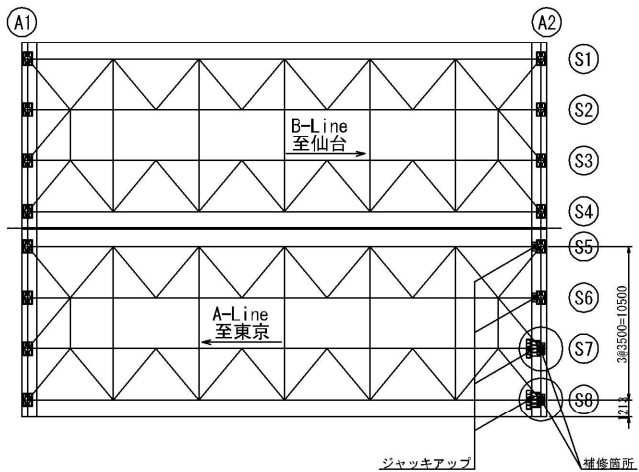


C-C 縮尺 1:10



構造高表	S7		S8	
	L	R	L	R
上部工下面～下部工天端 H1 (桁端部)	205	204	195	200
上部工下面～下部工天端 H2 (縦壁前面)	210	204	210	203
ソールプレート	25		25	
支承本体	165		165	
ベースプレート	40		40	
ハツリ深さ	81		81	

配置図



※ ジャッキアップ用垂直補強材のみ残存する

- 【特記事項】
1. 既設アンカーボルトは、ベースプレート上面位置で切断グラインダー仕上げとする。
  2. ベースプレート上面が、省座天端より低くなる場合は、仕上げ形状を協議の上決定すること。

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 支承取替工(その2)		
	縮尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



平面図(上り線)

1A

200 450

ジャッキ受け銅板  
400x600

775 100

B

1287 3500 2850 3500 2200 1300 563

13000

ジャッキ位置

A1 A2

Technical drawing of a bridge cross-section showing four piers (G5, G6, G7, G8) and their dimensions. The drawing includes labels for reinforcement materials (補強材), jacking equipment (ジャッキ), jacking supports (ジャッキ受け), and a bracket (ブラケット). Dimensions are provided in millimeters.

Dimensions (mm):

- Overall width: 13000
- Span between G5 and G6: 7638
- Span between G6 and G7: 3500
- Span between G7 and G8: 3500
- Span from G8 to right edge: 1212
- Span from left edge to G5: 1288
- Span between G5 and G6: 3500
- Span between G6 and G7: 3500
- Span between G7 and G8: 3500
- Span from G8 to right edge: 1212
- Span between G5 and G6: 7638
- Span between G6 and G7: 3500
- Span between G7 and G8: 3500
- Span from G8 to right edge: 1212
- Span from left edge to G5: 1288
- Span between G5 and G6: 3500
- Span between G6 and G7: 3500
- Span between G7 and G8: 3500
- Span from G8 to right edge: 1212

Labels:

- 補強材 (Reinforcement material)
- ジャッキ (Jacking equipment)
- ジャッキ受け (Jacking support)
- ブラケット (Bracket)

[illegible]

Figure 1: Elevation view of a reinforced concrete wall. The wall has a total height of 2000mm and a thickness of 130mm. It features horizontal reinforcement bars (φ24.5L) and vertical reinforcement bars (φ28.5L). The wall is supported by a foundation. Dimensions include: total height 2000mm, clear height 1935mm, wall thickness 130mm, and reinforcement spacing 9=145=1305mm. The wall is labeled "L-130x130x12".

Technical drawing of a reinforced concrete slab cross-section. The drawing shows a vertical section of a slab with various dimensions and reinforcement details. Key dimensions include: total width 2000 mm, slab thickness 150 mm, and a total height of 2000 mm. Reinforcement is shown with circles and crosses, indicating top and bottom bars. A section line '1-1' is indicated on the right side.

1箇所当り  
2-L 130×130×12×1955  
2-L 130×130×12×1565  
22-TCB M22×70 (S10T)  
28-TCB M22×60 (S10T)

The elevation view shows a vertical column section with various dimensions and reinforcement details. Key dimensions include overall height of 2000 mm, clear height of 1855 mm, and joint height of 400 mm. Horizontal dimensions show a total width of 130 mm and a central core width of 30 mm. Reinforcement includes top bars at 130 mm intervals, bottom bars at 130 mm intervals, and cross-sections labeled as 8ø 4/5=160 and 1435. A Guss PL (Gusset Plate) is indicated at the base of the column.

1箇所当り  
2-L 130×130×12×1955  
2-L 130×130×12×1565  
24-TCB M22×70 (S10T)  
28-TCB M22×60 (S10T)

(kN)
A2 (S7~S8)
1070.9

**配置図**

A-Line  
至東岸

B-Line  
至仙台

C-Line  
至西

全長 3500-10500mm

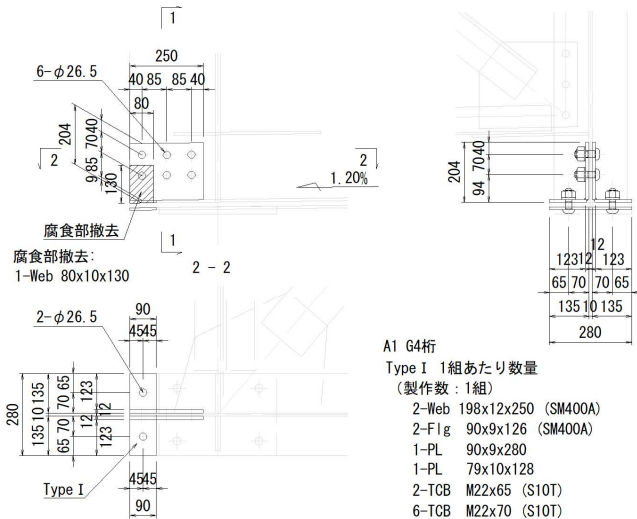
幅員 36m

東北自動車道 濁川橋梁替塗装工事		
図面の種類	大森川橋 支取代替工(その3)	
縮 尺	NON	図面番号 /
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所	

大森川橋 主桁端部補修工

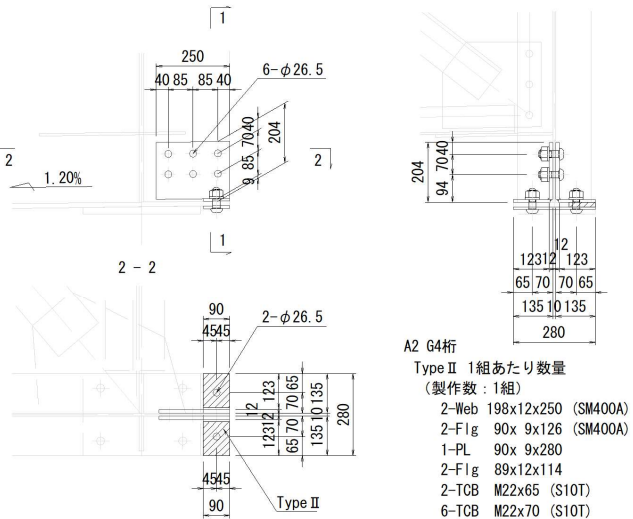
A1橋台 G4桁

1 - 1



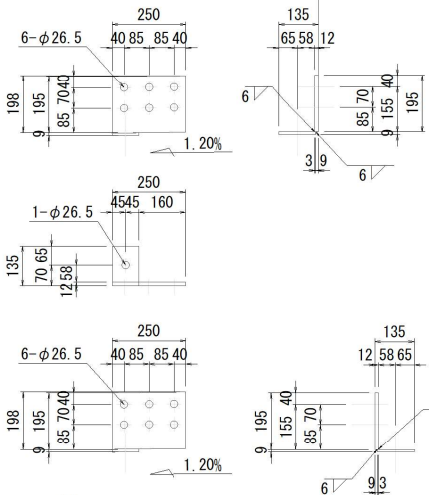
A2橋台 G4桁

1 - 1

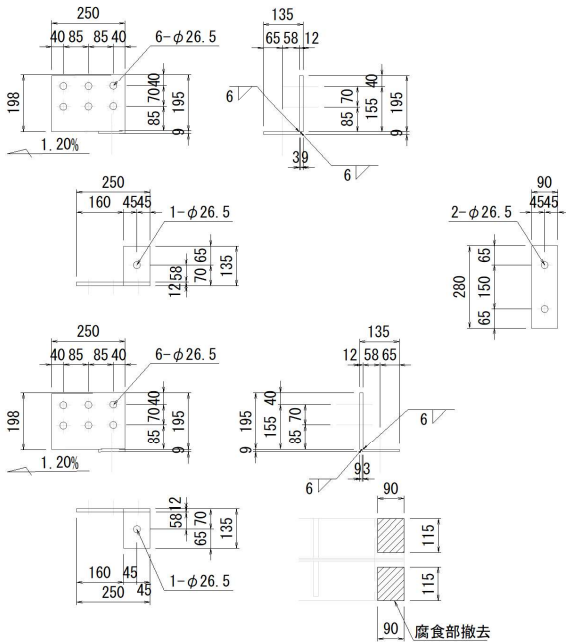


部材詳細図

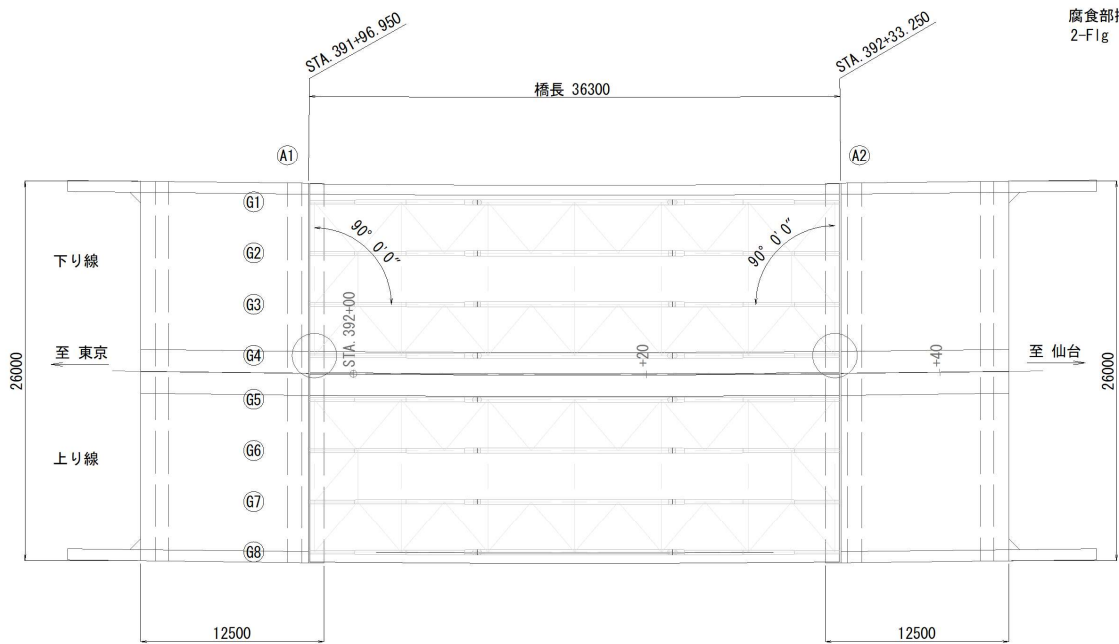
Type I



Type II



配置図



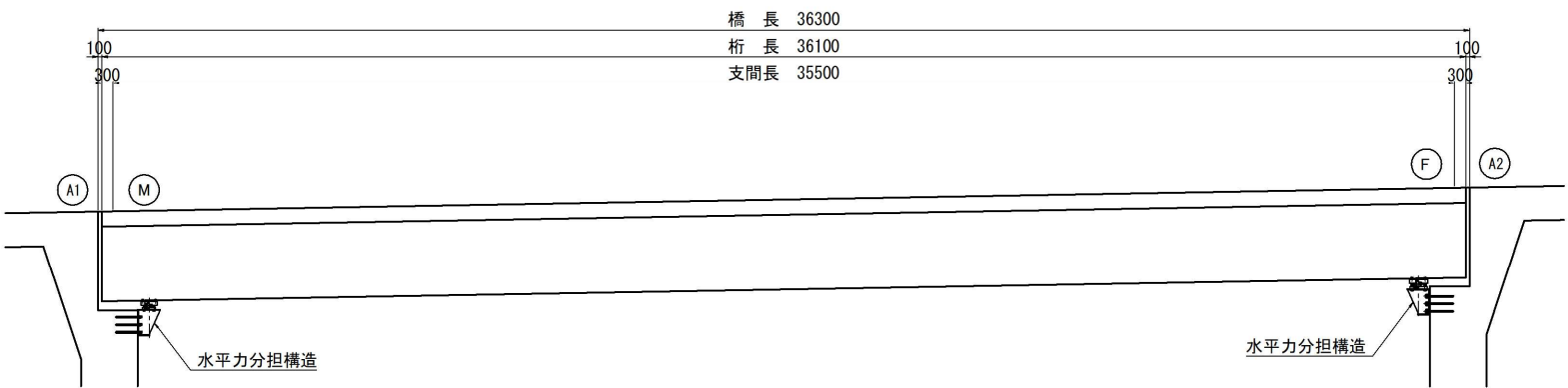
東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 主桁端部補修工		
	縮尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



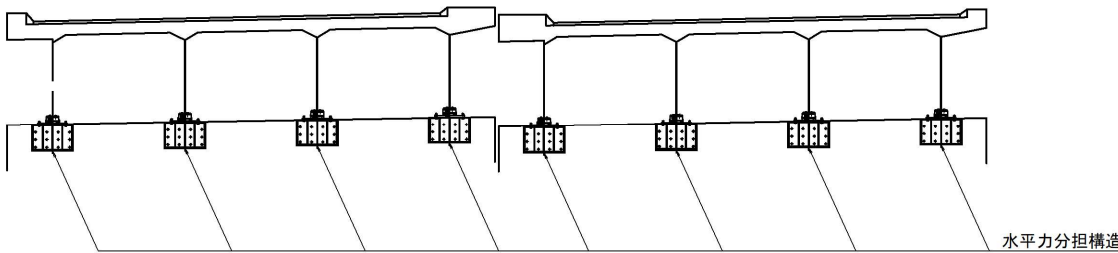
大森川橋 水平力分担構造（その1）

構造一般図

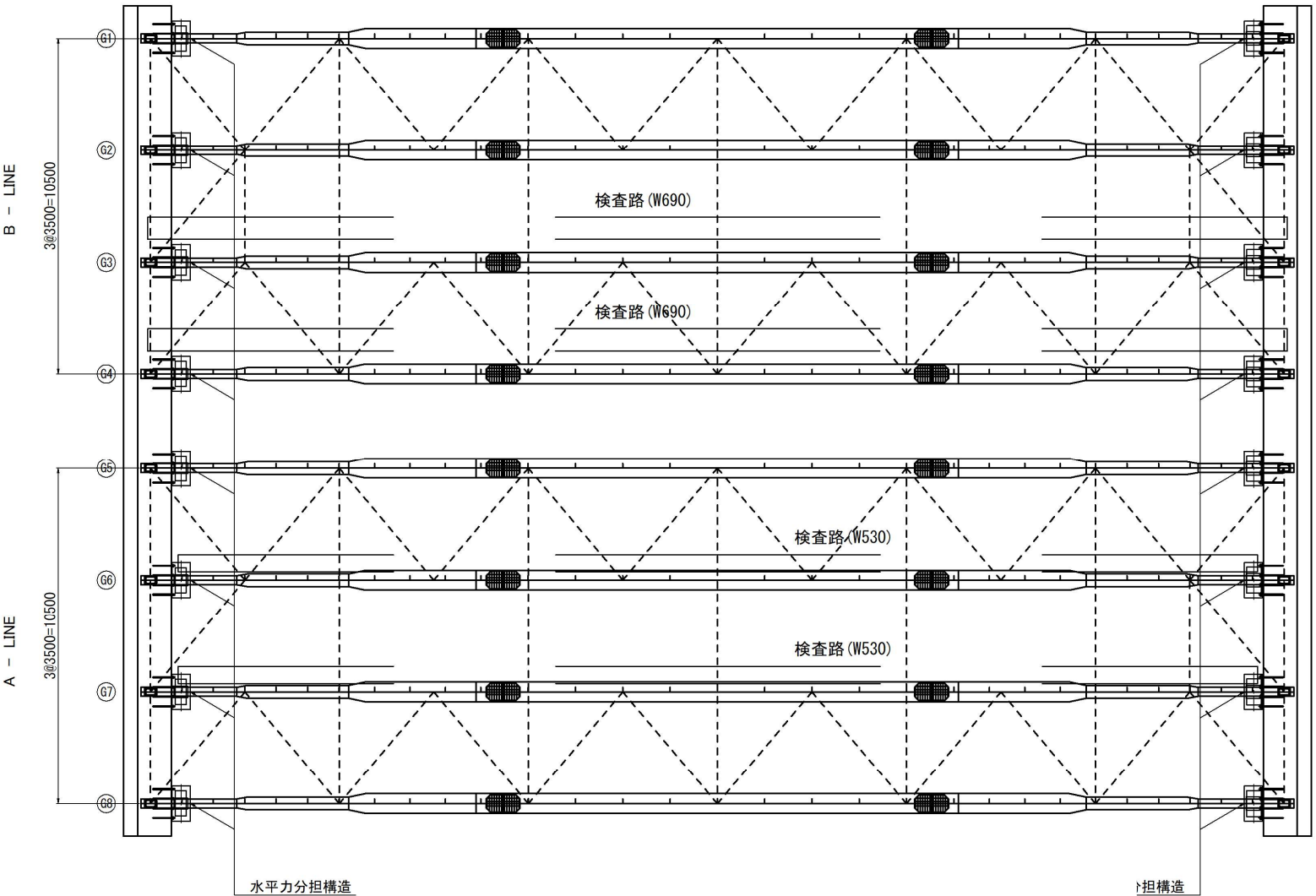
側面図 S=1：200



側面図 S=1：200



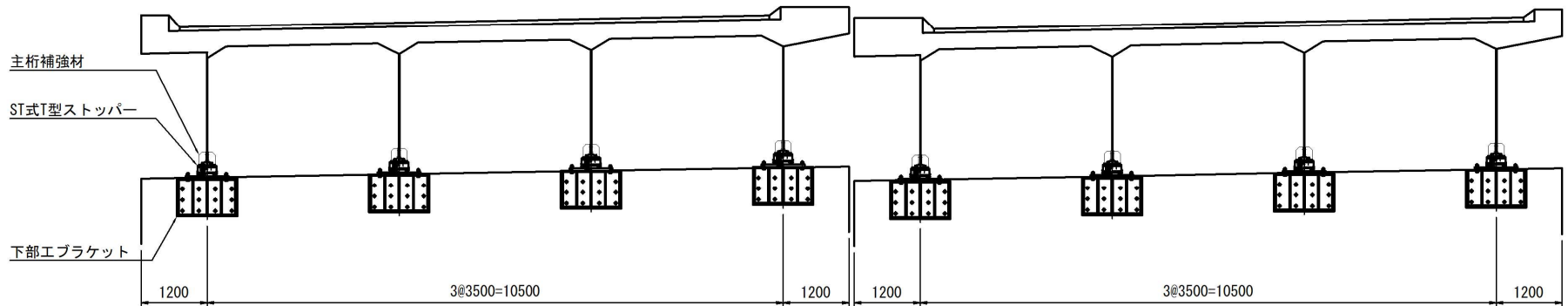
平面図 S=1：200



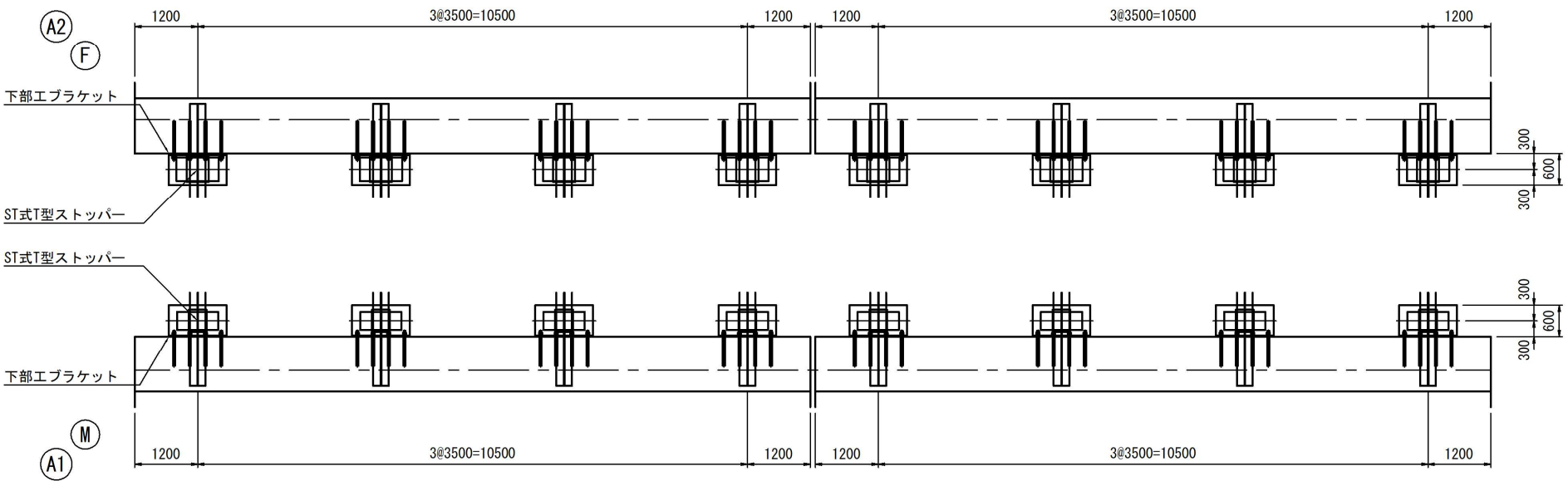
東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 水平力分担構造（その1）		
	縮尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

大森川橋 水平力分担構造（その2）  
配置図

正面図 S=1:120

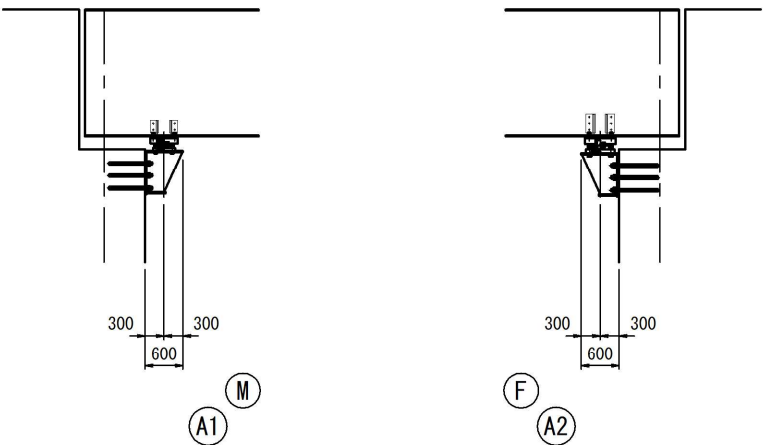


平面図 S=1:120

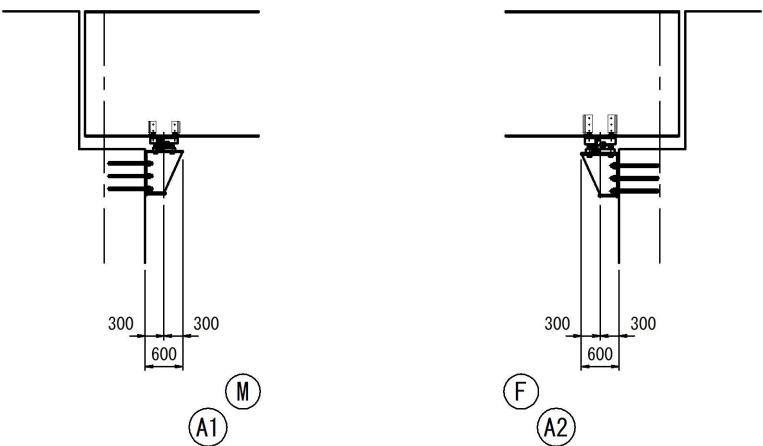


側面図 S=1:120

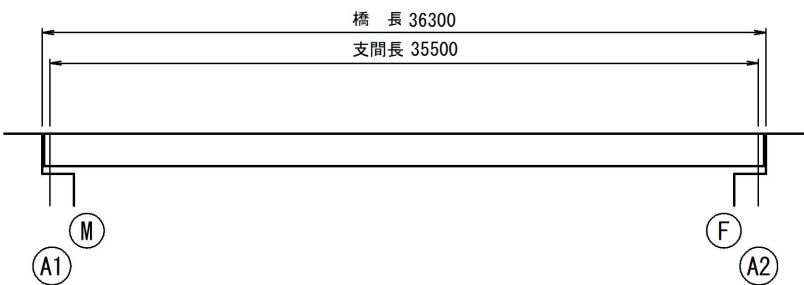
G1~G5, G8



G6, G7



位置図 S=1:400



材 料 表

名 称	寸 法	材 質	単位	数 量		備 考
				A1 (M)	A2 (F)	
ST式T型ストッパー	詳細図（その1、2）参照	詳細図（その1、2）参照	基	8	8	
下部エブラケット	詳細図（その3）参照	詳細図（その3）参照	〃	8	8	
主桁補強材	詳細図（その4）参照	詳細図（その4）参照	〃	8	8	

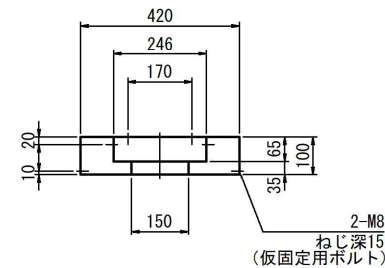
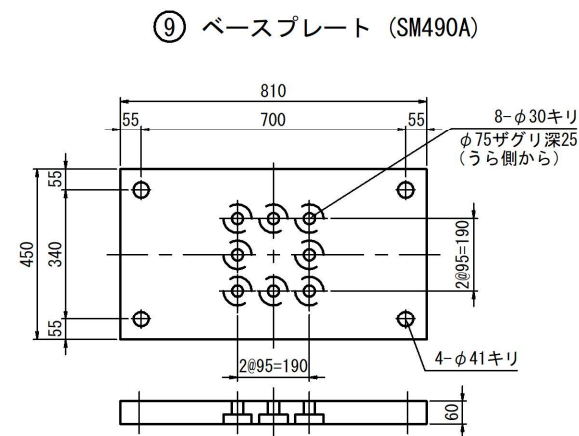
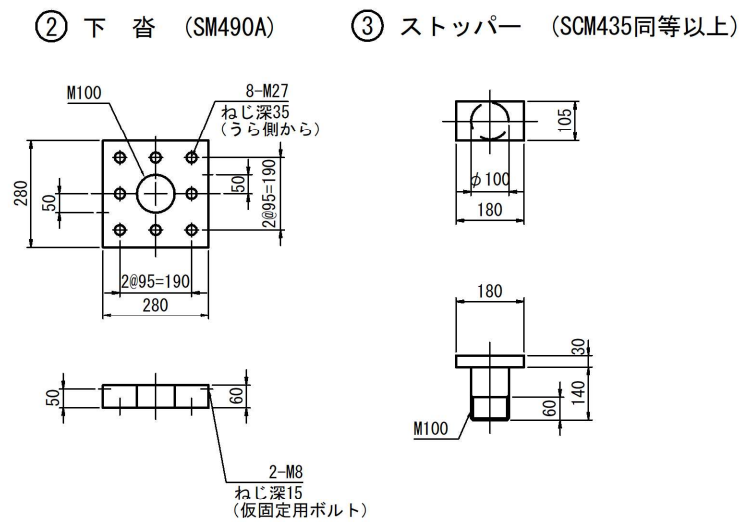
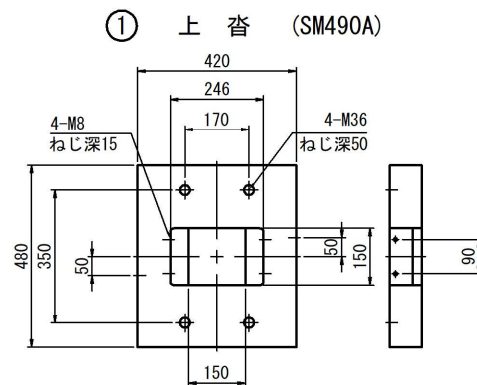
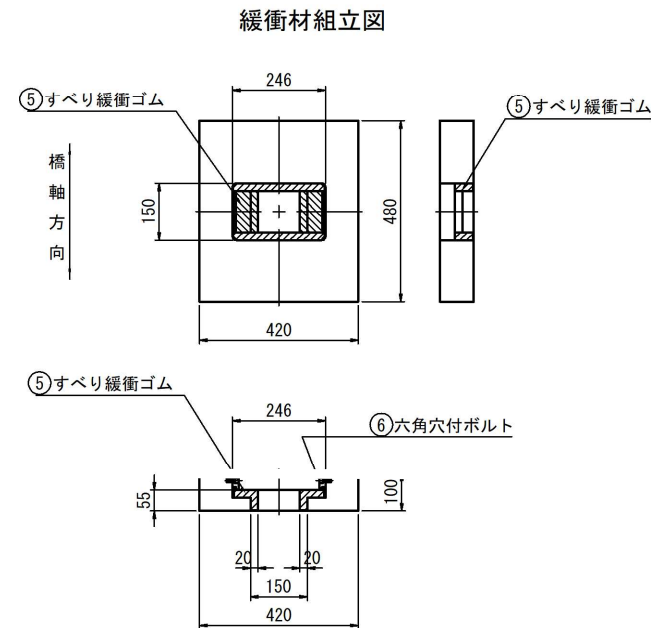
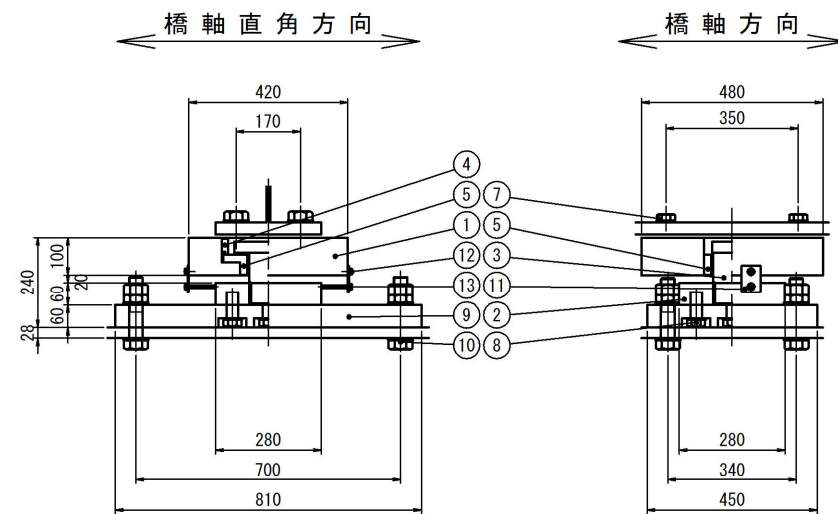
特記事項  
1. 施工着手に先立ち、現地寸法等を確認し、製作寸法に反映すること。

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 水平力分担構造（その2）		
	縮 尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

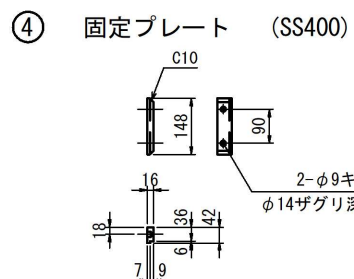
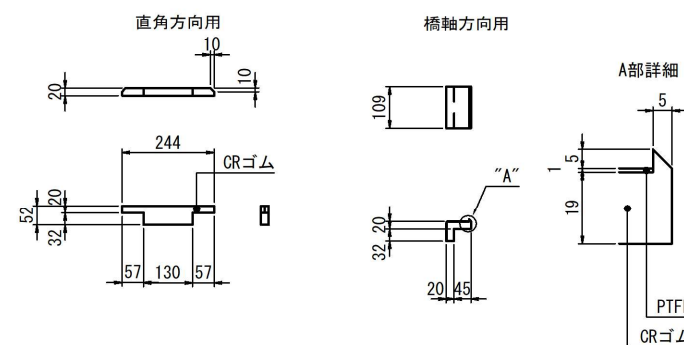


※ ボルト長は、定着部板厚を確認して決定すること。

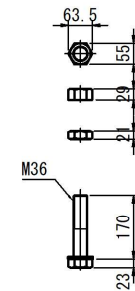
【 900kN-F A2 】



⑤ すべり緩衝ゴム (CRゴム+PTFE)

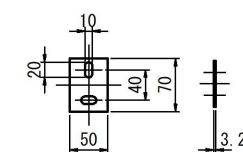


⑩ アンカーボルト (強度区分 8. 8)

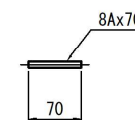


※ ボルト長は、定着部板厚を確認して決定すること。

⑪ 仮固定用プレート S=1:10  
(SS400)



⑬ スペーサー S=1:10  
(SGP)



## 設計条件

死 荷 重 反 力		Rd	575 kN
地 震 時 水 平 力	橋軸方向	RHe1	897 kN
	橋軸直角方向	RHe2	449 kN
上 揚 力		V	173 kN

### 材料表 (1基当り)

部 番	品 名	材 質	個数	質量 (kg)	備 考
①	上 沓	SM490A	1	131.6	
②	下 沓	SM490A	1	31.9	
③	ストッパー	SCM435同等以上	1	13.1	
④	固定プレート	SS400	2	1.4	
5	すべり緩衝ゴム	CRゴム+PTFE	4	1.2	
⑥	六角穴付ボルト	————	4	0.1	
⑦	六角ボルト (析側)	————	4	——	座金付
⑧	六角ボルト (下沓)	————	8	4.1	座金付
⑨	ベースプレート	SM490A	1	160.7	
⑩	アンカーボルト	強度区分8.8	4	9.7	座金付
	全質量 (kg)			353.8	

(仮設部材)

部番	品 名	材 質	個数	質量 (kg)	備 考
11	仮固定用プレート	SS400	2	0.2	
12	仮固定ボルト	—	4	0.1	平座金付
13	スペーサー	SGP	2	0.1	

注) 1. ○ 内部品は、溶融亜鉛めっき仕様とする。

☐ 内部品は、黒色酸化被膜処理とする。

注) 2. 仮固定用プレート、スペーサーは、T型ストッパーセット後取り除く。  
ねじ穴にはシール材にてコーキング処理の事。

注) 3. 仮固定用プレート、スペーサーは、高濃度亜鉛末塗装とする。

注) 4. T型ストッパーは、水平になるように設置する。

縦断勾配がある場合は、テーパプレートで調整する。

注) 5. 施工に必要な吊り孔等は適宜設けること。

⑥ 六角穴付ボルト M8x16 強度区分 12.9

⑦ 六角ボルト(桁側) M36xL 強度区分8.8

⑧ 六角ボルト(下沓) M27x70 強度区分8.8

⑫ 仮固定ボルト M8x16 強度区分4.8

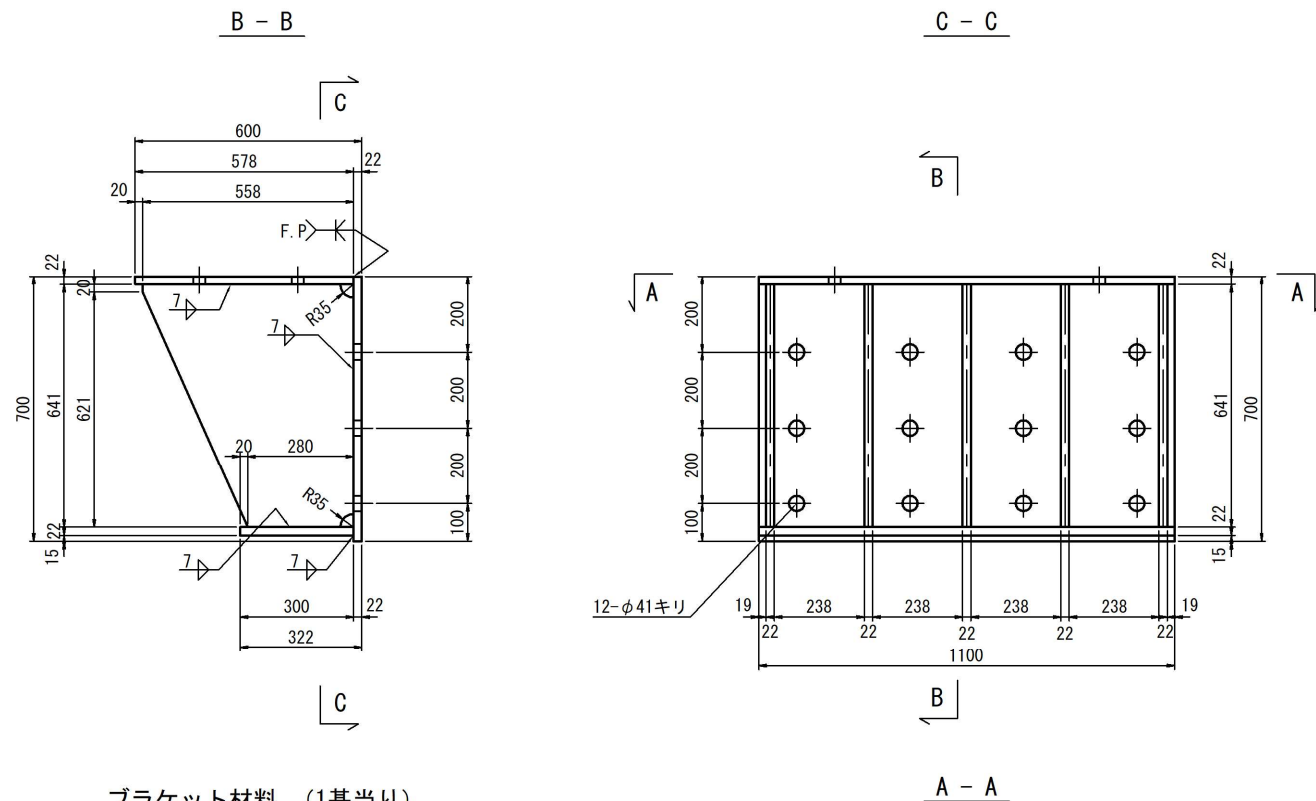
M8x85 強度区分4.8

特記事項

1. 施工着手に先立ち、現地寸法等を確認し、製作寸法に反映すること。

東北自動車道 濁川橋梁替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 水平分担構造 (その4)		
	縮 尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

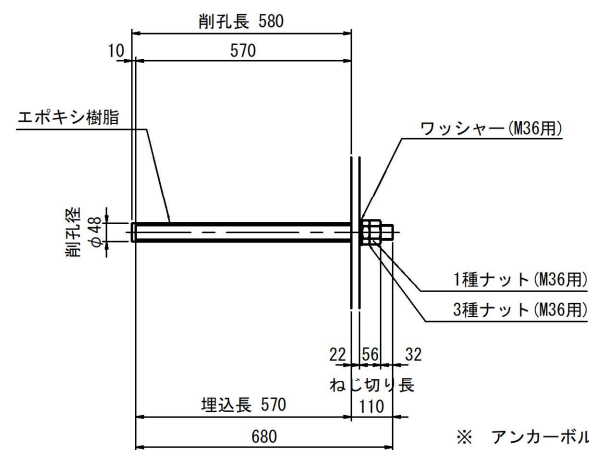




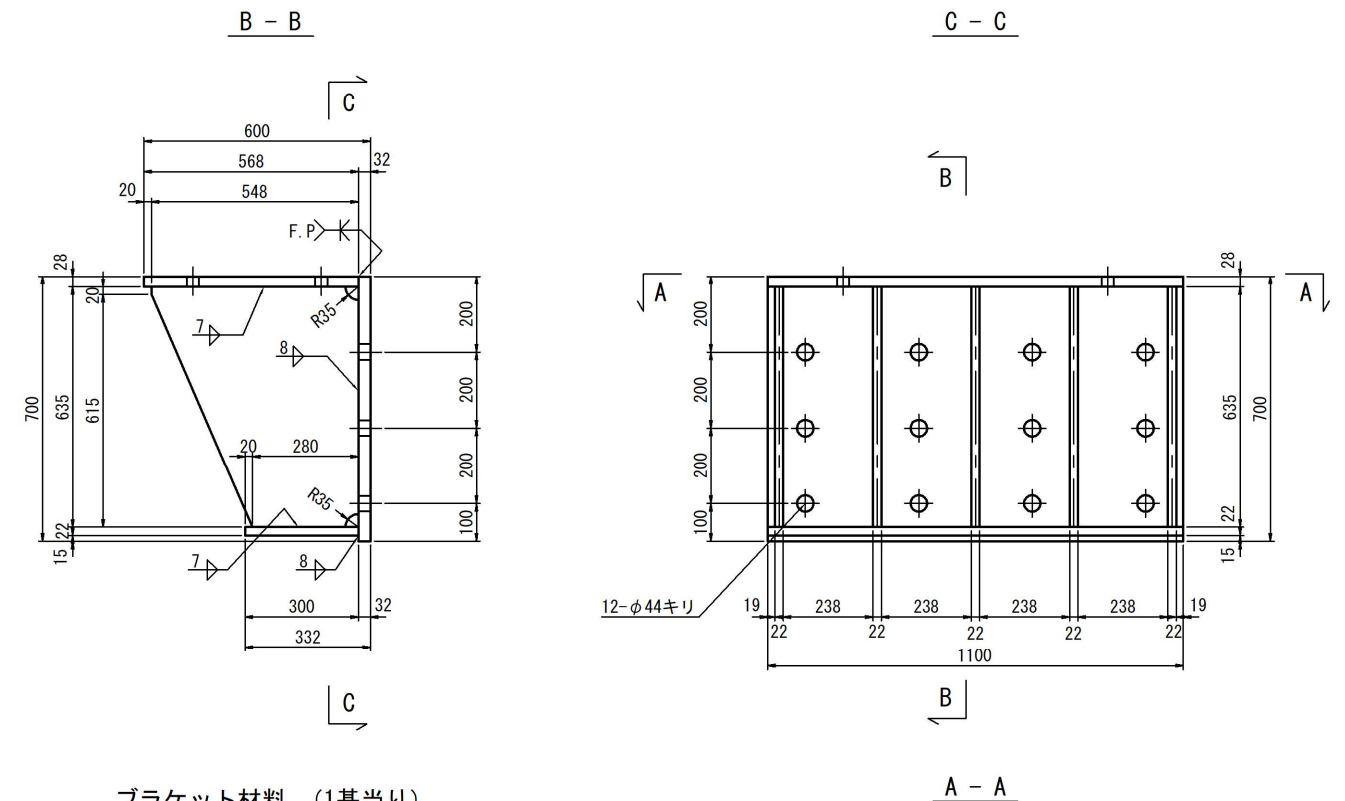
ブラケット材料 (1基当り)

- 1 - PL 1100x22x700 (SM490YB)  
1 - PL 1100x22x578 (SM490YB)  
1 - PL 1100x22x300 (SM490YB)  
5 - PL 641x22x558 (SM490YB)  
12 - Anc Bolt D38 x 680 (SD345)  
12 - Nut M36 (1種)  
12 - Nut M36 (3種)  
12 - Wash M36

下部工アンカーボルト詳細図



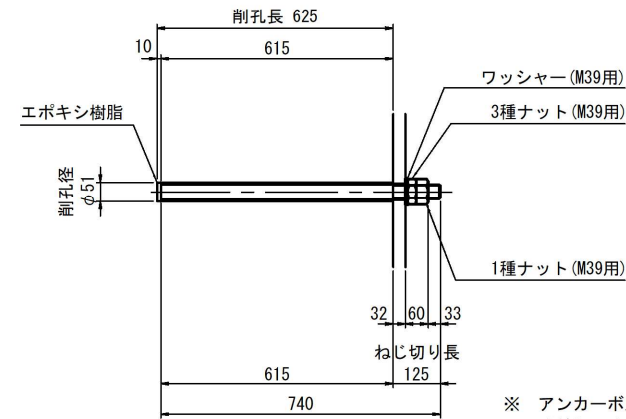
※ アンカーボルトはねじ切り部のみ防錆処理を施すものとする。



ブラケット材料 (1基当り)

- 1 - PL 1100x32x700 (SM490YB)  
1 - PL 1100x28x568 (SM490YB)  
1 - PL 1100x22x300 (SM490YB)  
5 - PL 635x22x548 (SM490YB)  
12 - Anc Bolt D41 x 740 (SD345)  
12 - Nut M39 (1種)  
12 - Nut M39 (3種)  
12 - Wash M39

下部エアンカーボルト詳細図



※ アンカーボルトはねじ切り部のみ防錆処理を施すものとする。

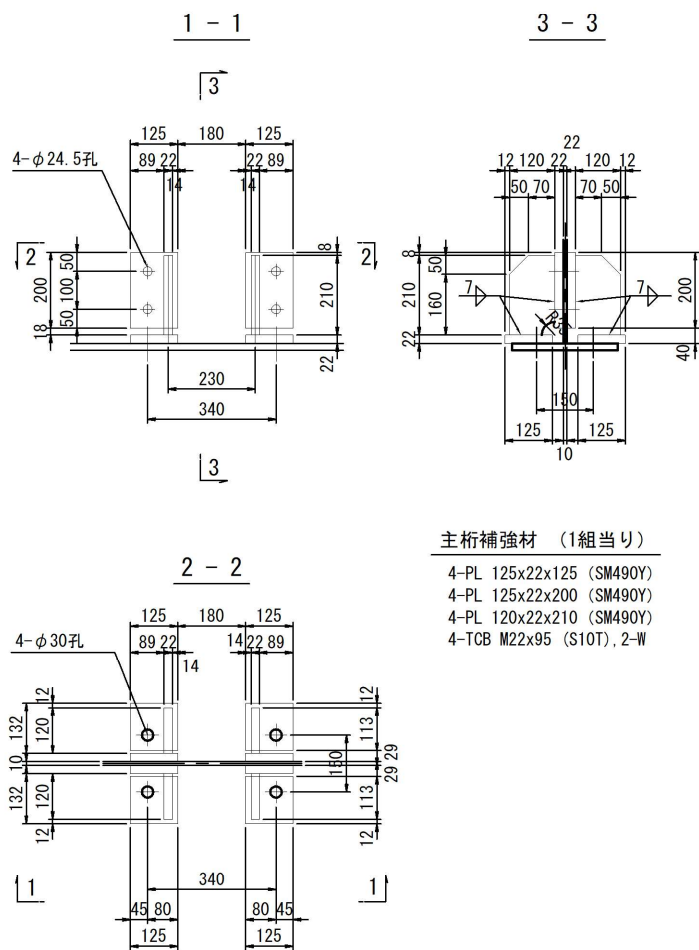
特記事項

1. 施工着手に先立ち、現地寸法等を確認し、製作寸法に反映すること。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛めっき仕様とする。鋼板（HDZ55）、ボルト・ナット類（HDZ35）

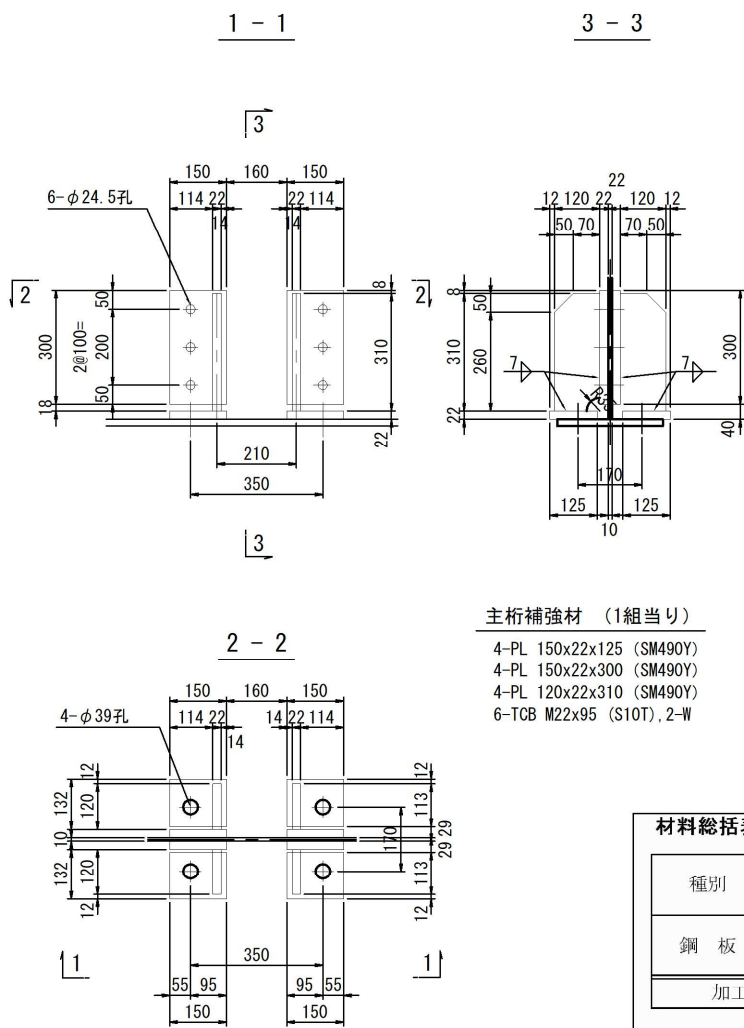
東北自動車道 濁川橋梁替塗装工事		
図面の種類	大森川橋 水平力分担構造（その5）	
縮尺	NON	図面番号 /
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所	

【 主桁補強材詳細図 】

【 A1 （G1～G5, G8） 】



【 A2 （G1～G5, G8） 】



材料総括表			橋台・橋脚あたり (kg)	
種別	材質	寸法	鋼製ブラケット	
			A1	A2
鋼 板	SM490Y	t=22	368	560
		小計	368	560
加工鋼重計 ( A )			368	560

工数算定要素集計表

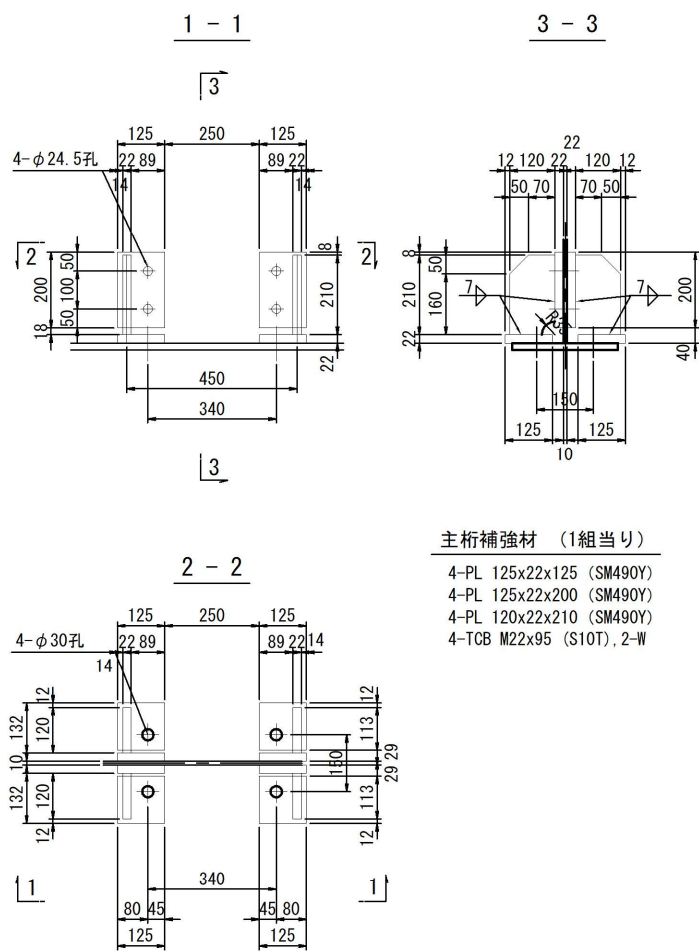
鋼材材片		鋼製ブラケット	
		A1	A2
材片数	個	96	96
材片重量	Kg	368	560
加工重量	Kg	368	560

種別	材質	寸法	鋼製ブラケット					
			A1	P1L	合計			
高力ボルト	S10T	M22	24	32	56	(kg)		
			(32組)	(48組)	(80組)			
部品重量計 ( B )			24	32	56	(kg)		
総合計 ( A ) + ( B )			392	592	984	(kg)		

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 水平力分担構造（その6）		
	縮 尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

【 主桁補強材詳細図 】

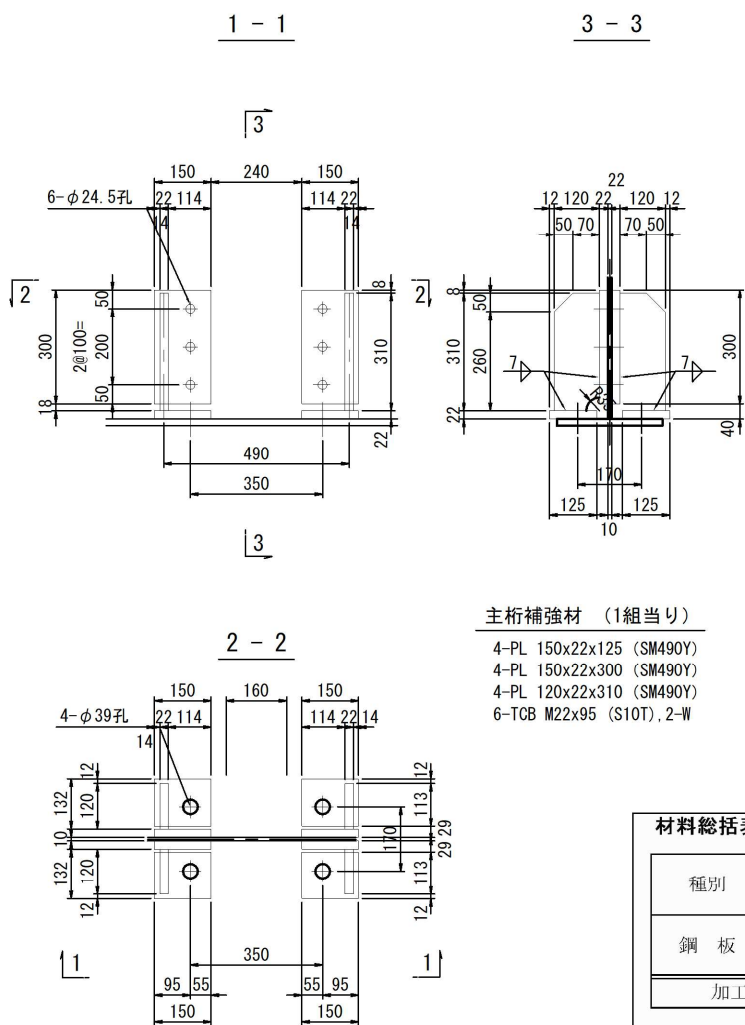
【 A1（G6, G7） 】



主桁補強材（1組当り）

- 4-PL 125x22x125 (SM490Y)
- 4-PL 125x22x200 (SM490Y)
- 4-PL 120x22x210 (SM490Y)
- 4-TCB M22x95 (S10T), 2-W

【 A2（G6, G7） 】



主桁補強材（1組当り）

- 4-PL 150x22x125 (SM490Y)
- 4-PL 150x22x300 (SM490Y)
- 4-PL 120x22x310 (SM490Y)
- 6-TCB M22x95 (S10T), 2-W

材料総括表

橋台・橋脚あたり (kg)

種別	材質	寸法	鋼製ブラケット	
			A1	A2
鋼 板	SM490Y	t=22	368	560
		小計	368	560
加工鋼重計 ( A )			368	560

工数算定要素集計表

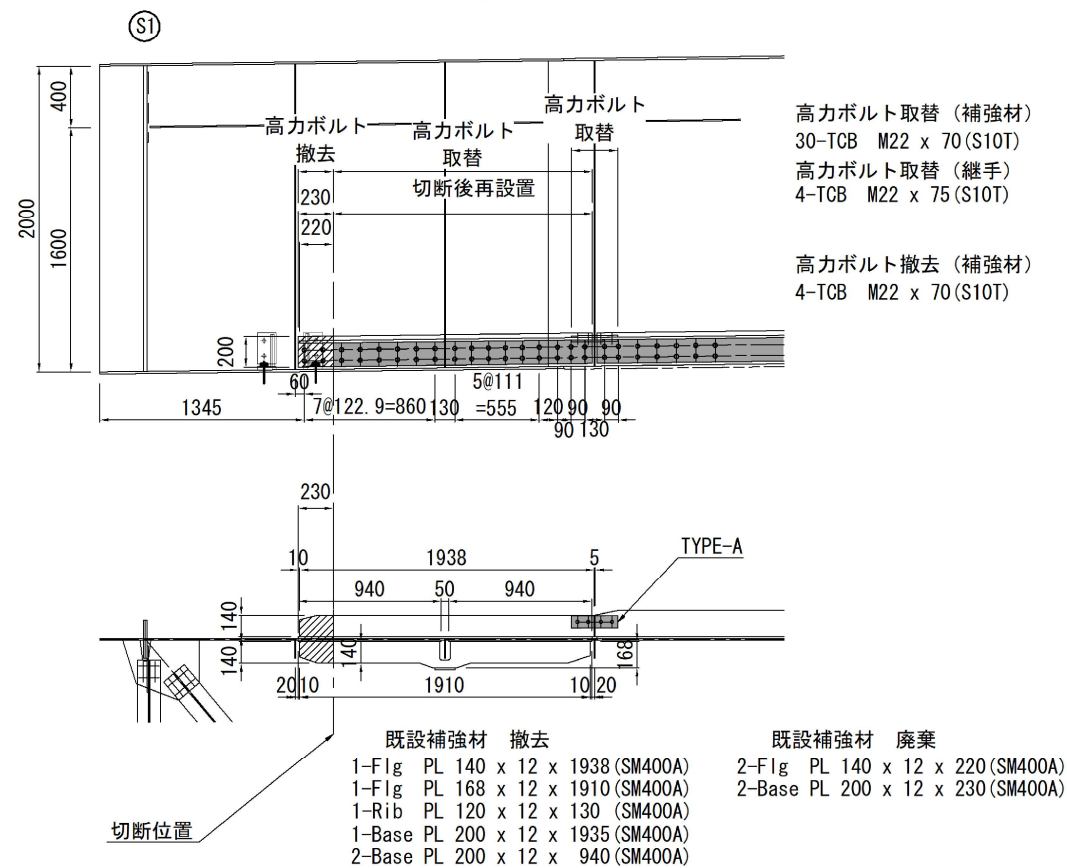
鋼材材片		鋼製ブラケット	
		A1	A2
材片数	個	96	96
材片重量	Kg	368	560
加工重量	Kg	368	560

種別	材質	寸法	鋼製ブラケット			(kg)		
			A1	P1L	合計			
高力ボルト	S10T	M22	24	32	56	(kg)		
			(32組)	(48組)	(80組)			
部品重量計 ( B )			24	32	56	(kg)		
総合計 ( A ) + ( B )			392	592	984	(kg)		

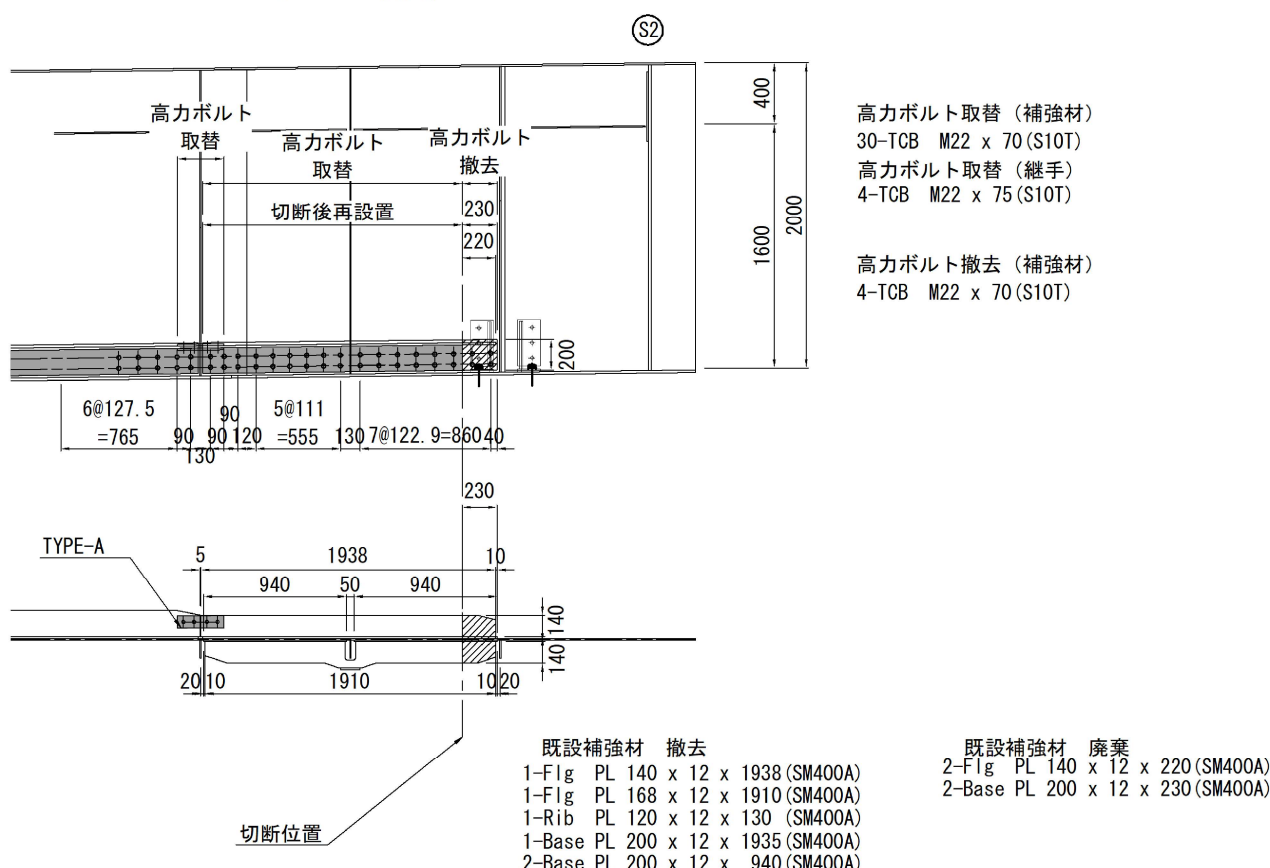
東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 水平力分担構造（その7）		
	縮 尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

大森川橋 既設補強材撤去図（その1）

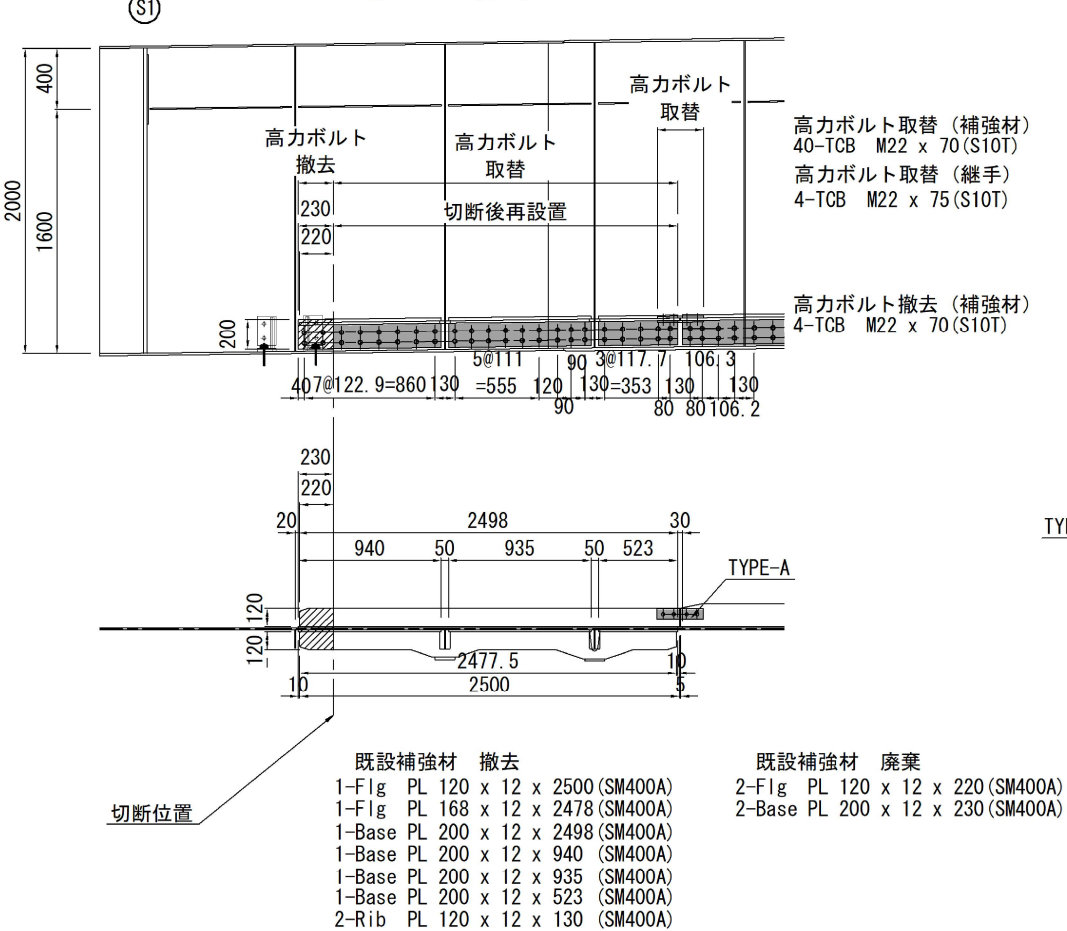
【 G1 A1側 】



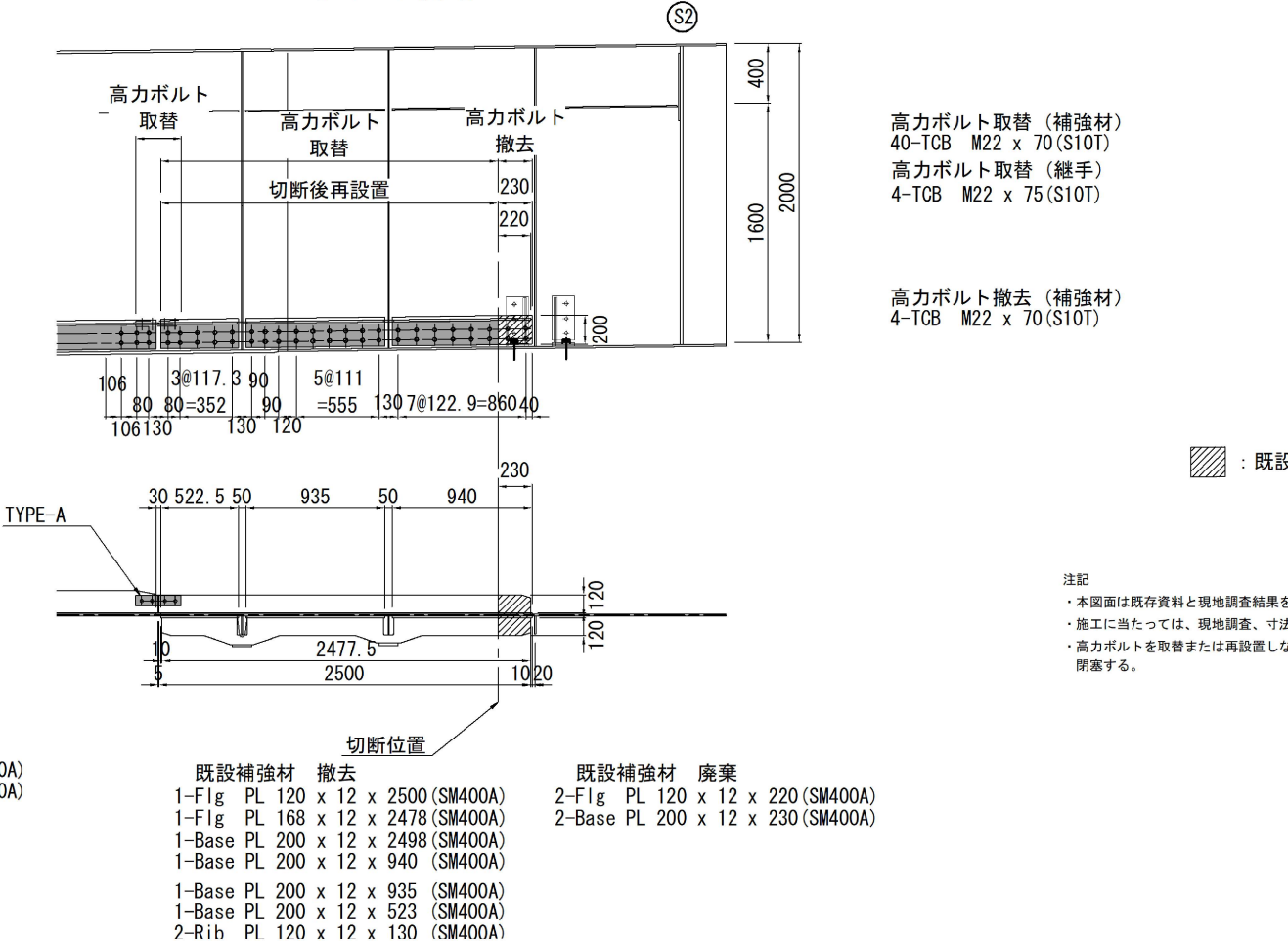
【 G1 A2側 】



【 G2 A1側 】



【 G2 A2側 】



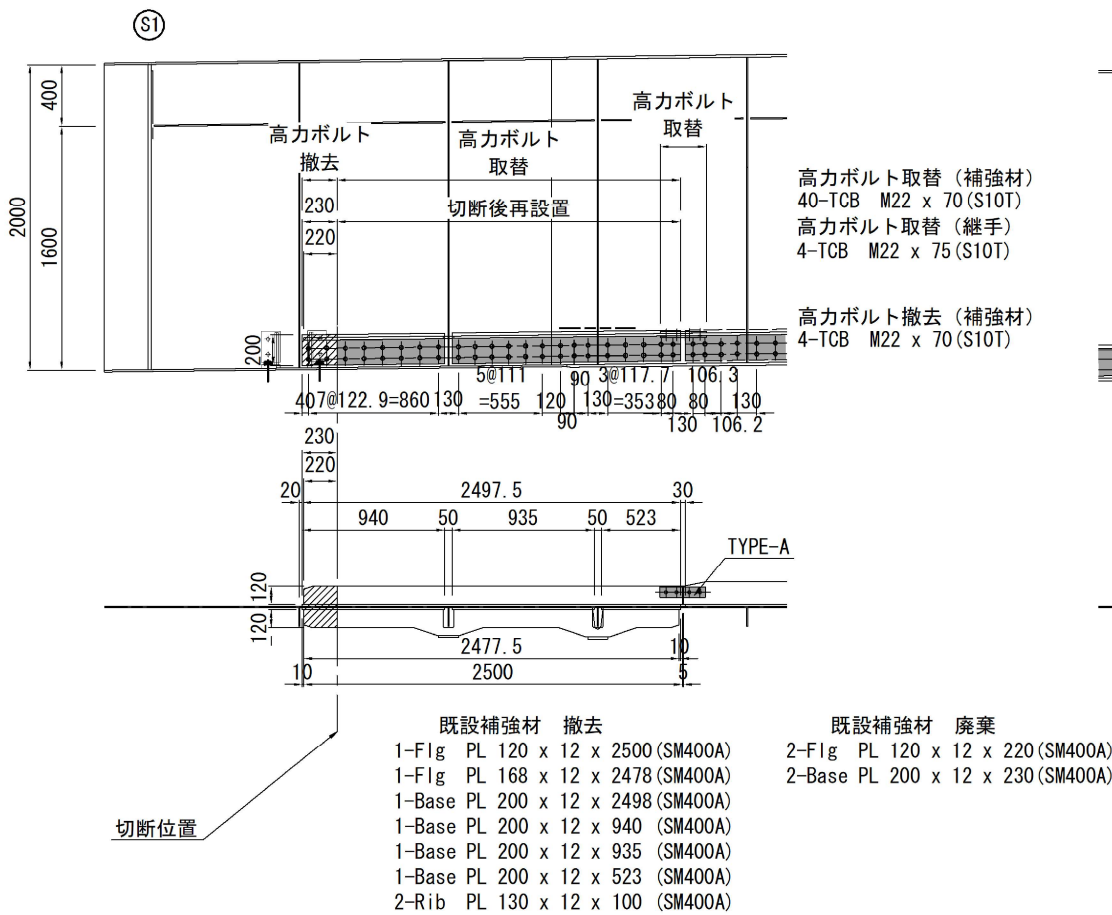
既設補強材切断後撤去

注記  
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。  
・施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い、確認の上施工すること。  
・高力ボルトを取替または再設置しない箇所は金属バテによりボルト孔を閉塞する。

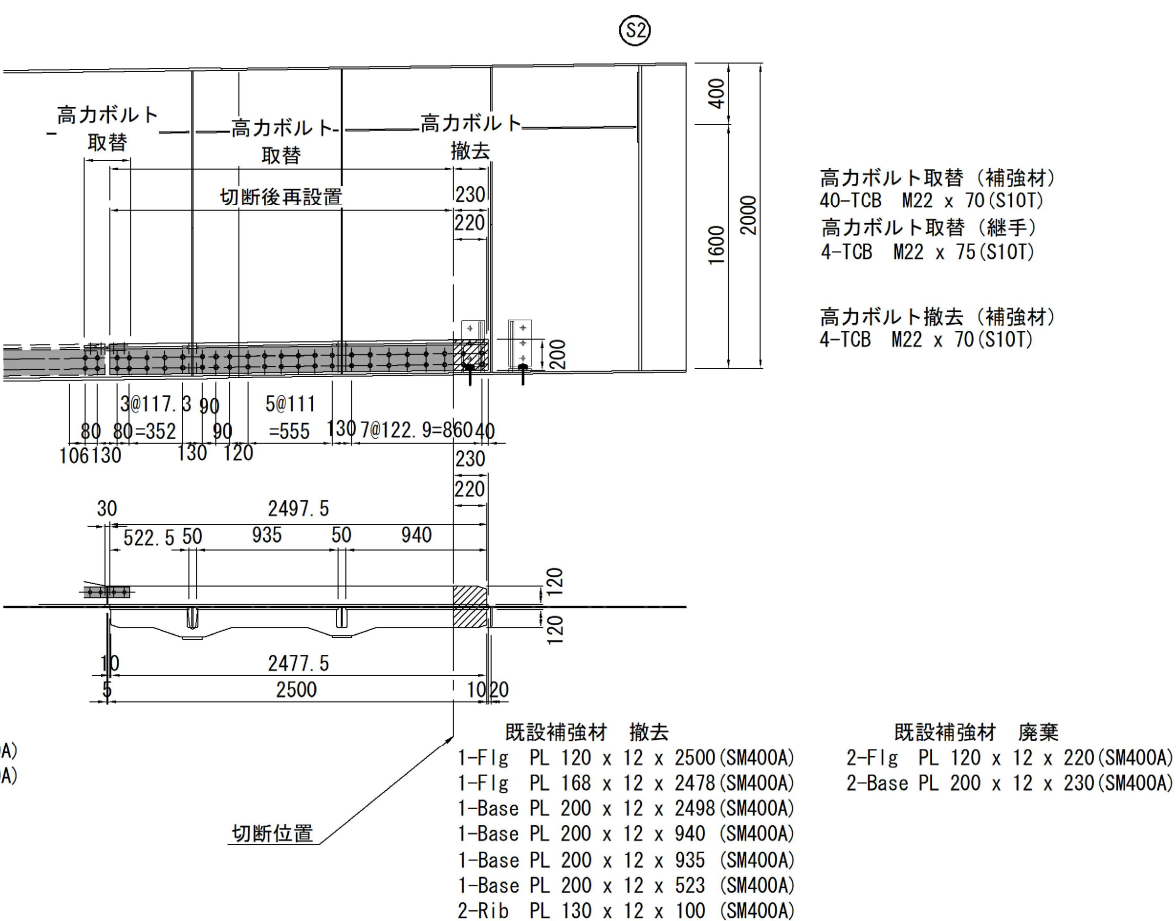
東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋		
	既設補強材撤去図（その1）		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



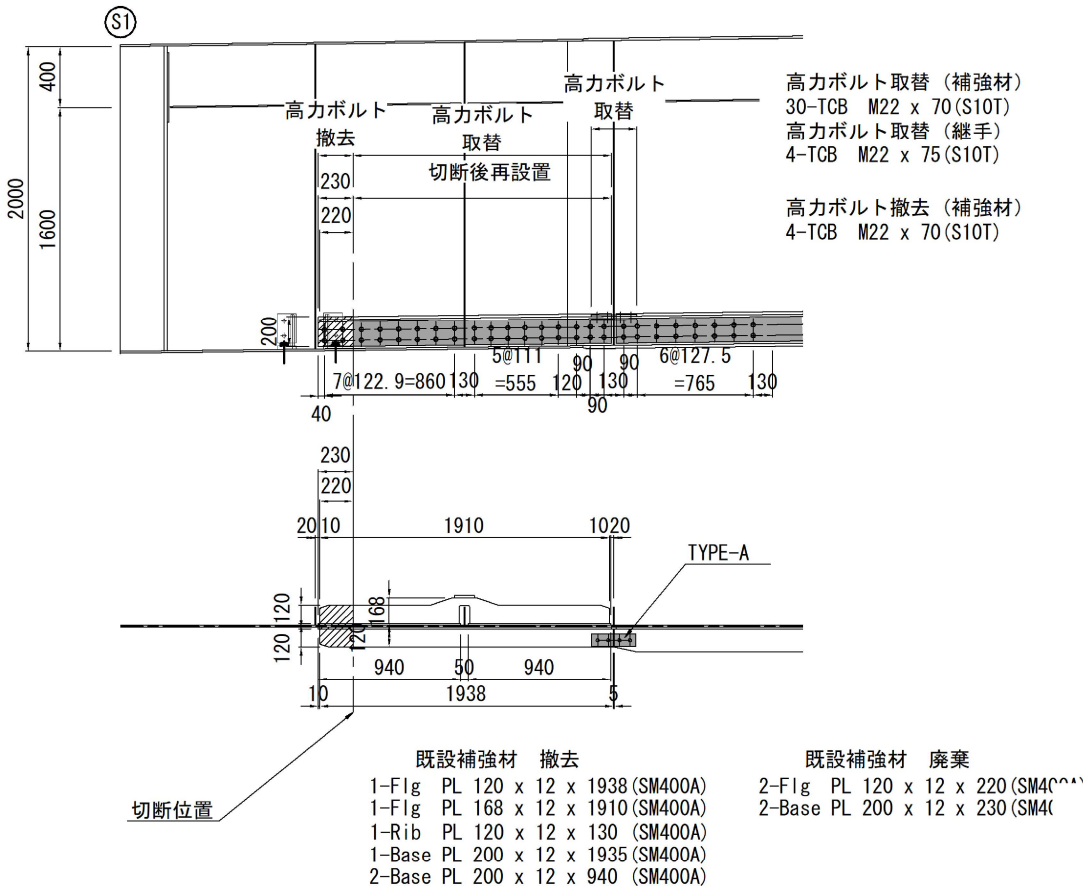
【 G3 A1側 】



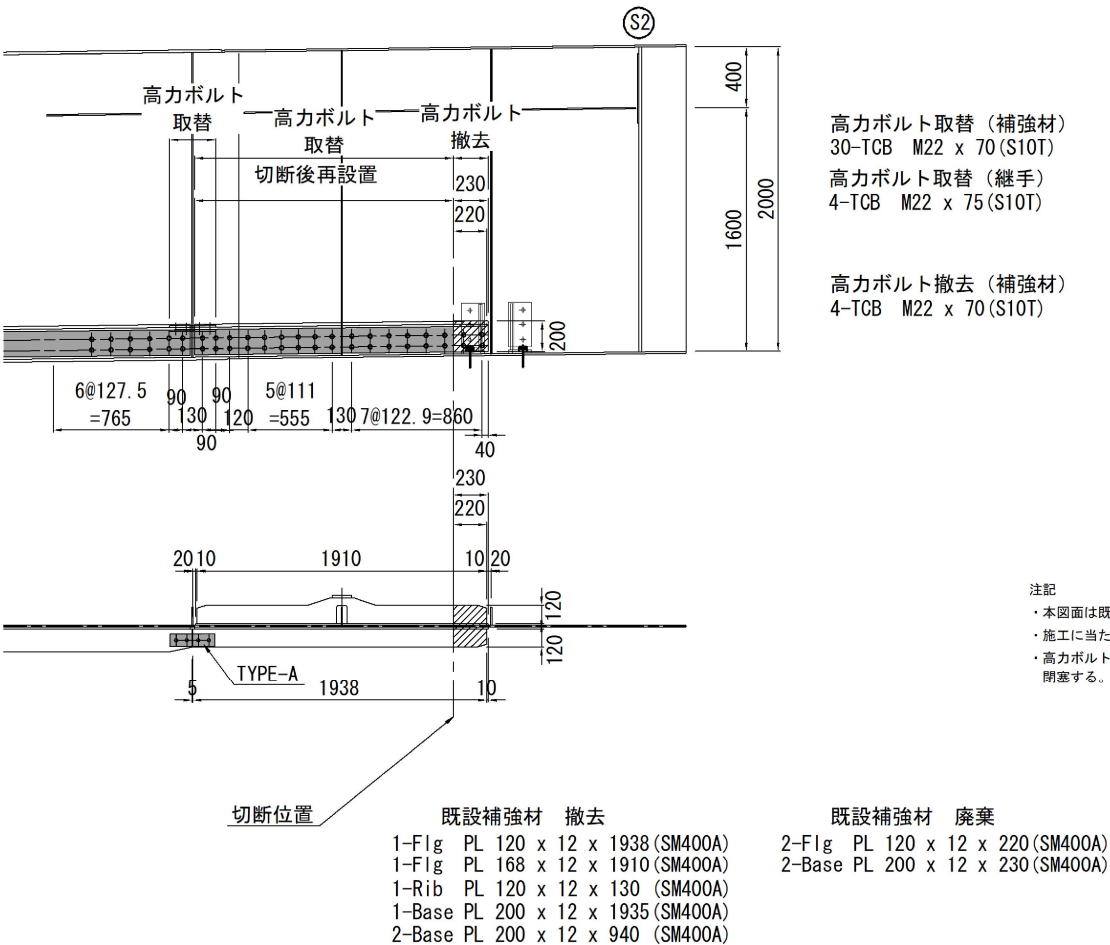
【 G3 A2側 】



【 G4 A1側 】



【 G4 A2側 】



：既設補強材切断後撤去

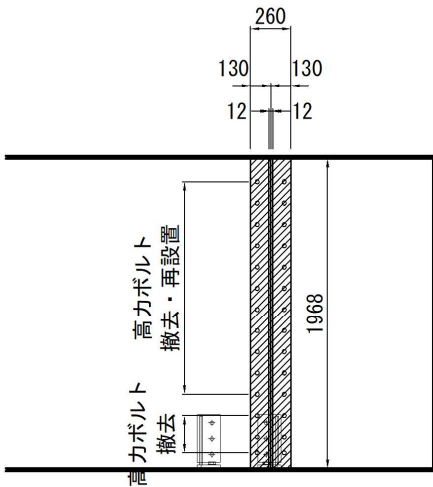
注記  
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。  
・施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い、確認の上施工すること。  
・高力ボルトを取替または再設置しない箇所は金属パテによりボルト孔を閉塞する。

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 既設補強材撤去図（その2）		
	縮 尺	NON	図面番号 /
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

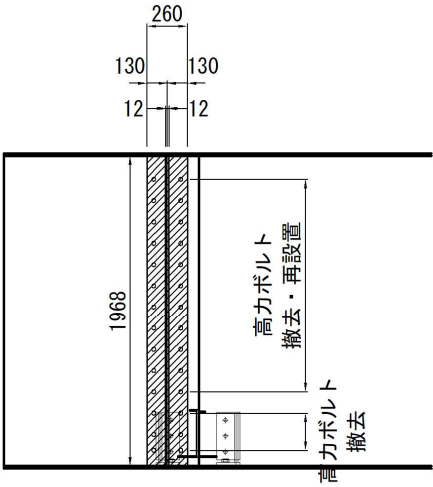
大森川橋 既設補強材撤去図（その3）

【 G7 A2側 】

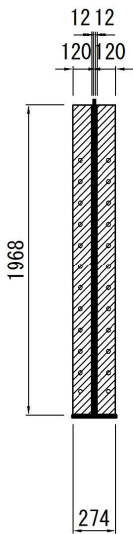
側面図 路肩側



側面図 中分側



断面図



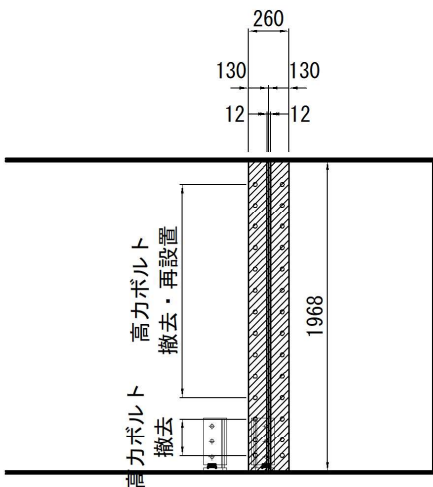
既設補強材 撤去  
4-Rib PL 120 x 12 x 1968 (SM400A)  
4-Base PL 130 x 12 x 1968 (SM400A)  
24-TCB M22 x 70 (S10T)

高力ボルト撤去  
6-TCB M22 x 70 (S10T)

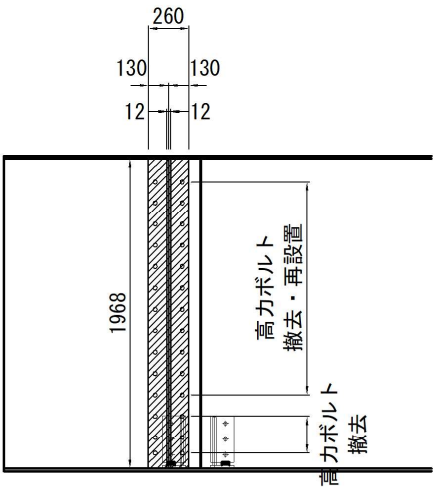
高力ボルト撤去・再設置  
22-TCB M22 x 70 (S10T)

【 G8 A2側 】

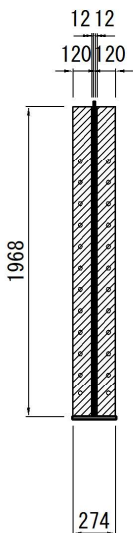
側面図 路肩側



側面図 中分側



断面図



既設補強材 撤去  
4-Rib PL 120 x 12 x 1968 (SM400A)  
4-Base PL 130 x 12 x 1968 (SM400A)  
24-TCB M22 x 70 (S10T)

高力ボルト撤去  
6-TCB M22 x 70 (S10T)

高力ボルト撤去・再設置  
22-TCB M22 x 70 (S10T)

既設補強材撤去

注記  
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。  
・施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い、確認の上施工すること。  
・高力ボルトを取替または再設置しない箇所は金属パテによりボルト孔を閉塞する。  
・G7、G8は補強時図面が無く補強材及びボルトの規格は簡易的な現地計測であるため、施工前に寸法を確認すること。

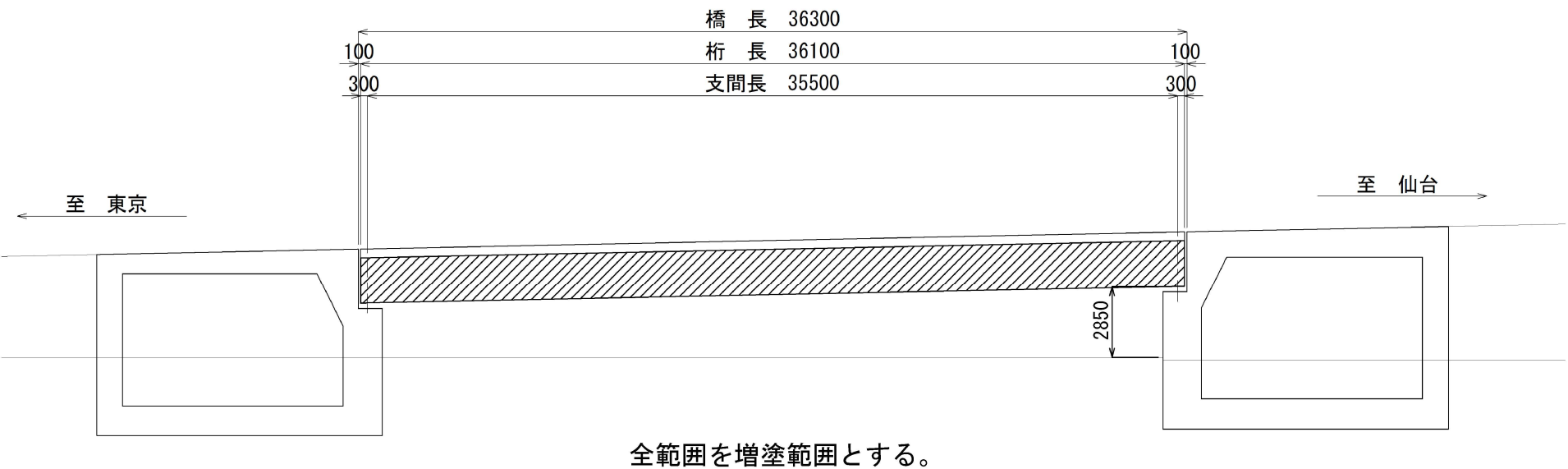
東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋 既設補強材撤去図（その3）		
	縮 尺	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

増塗塗装位置図

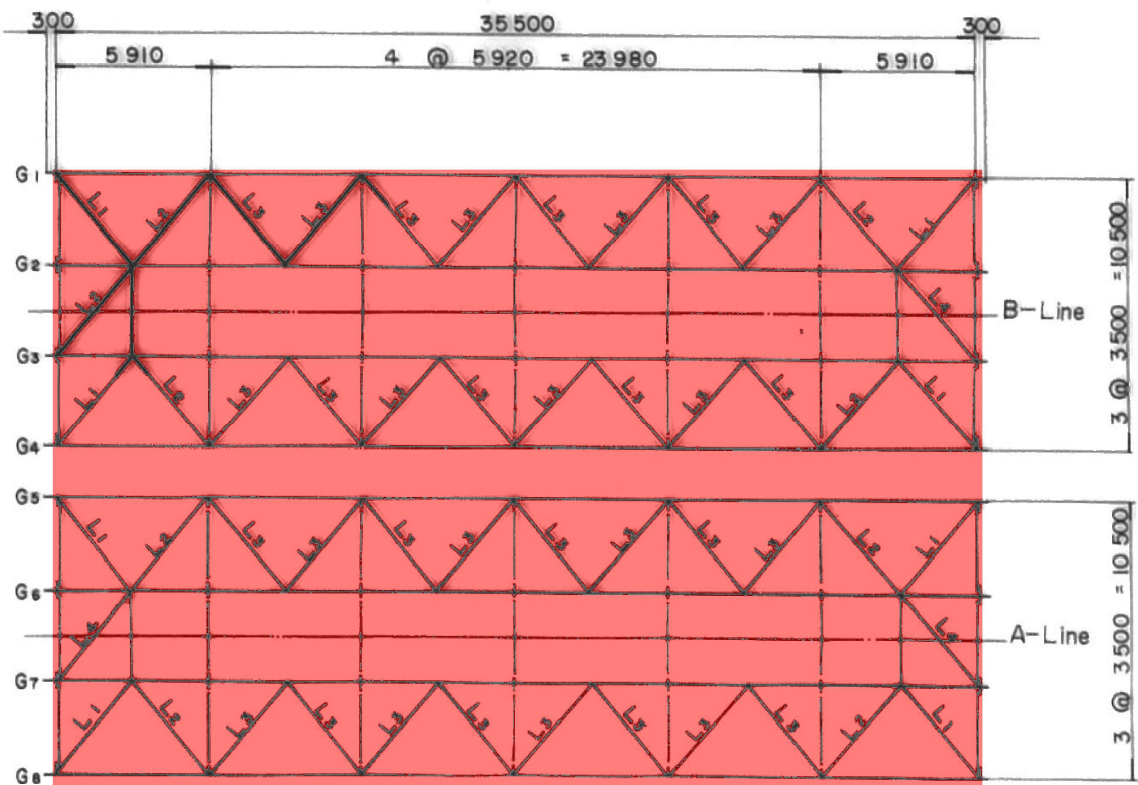
大森川橋

増塗塗装面積	上り	下り	合計
	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
大森川橋	1,092.6	1,090.2	2,182.8

主桁（上り下り）



対傾構・横構（上り下り）



東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	増塗塗装位置図 大森川橋		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

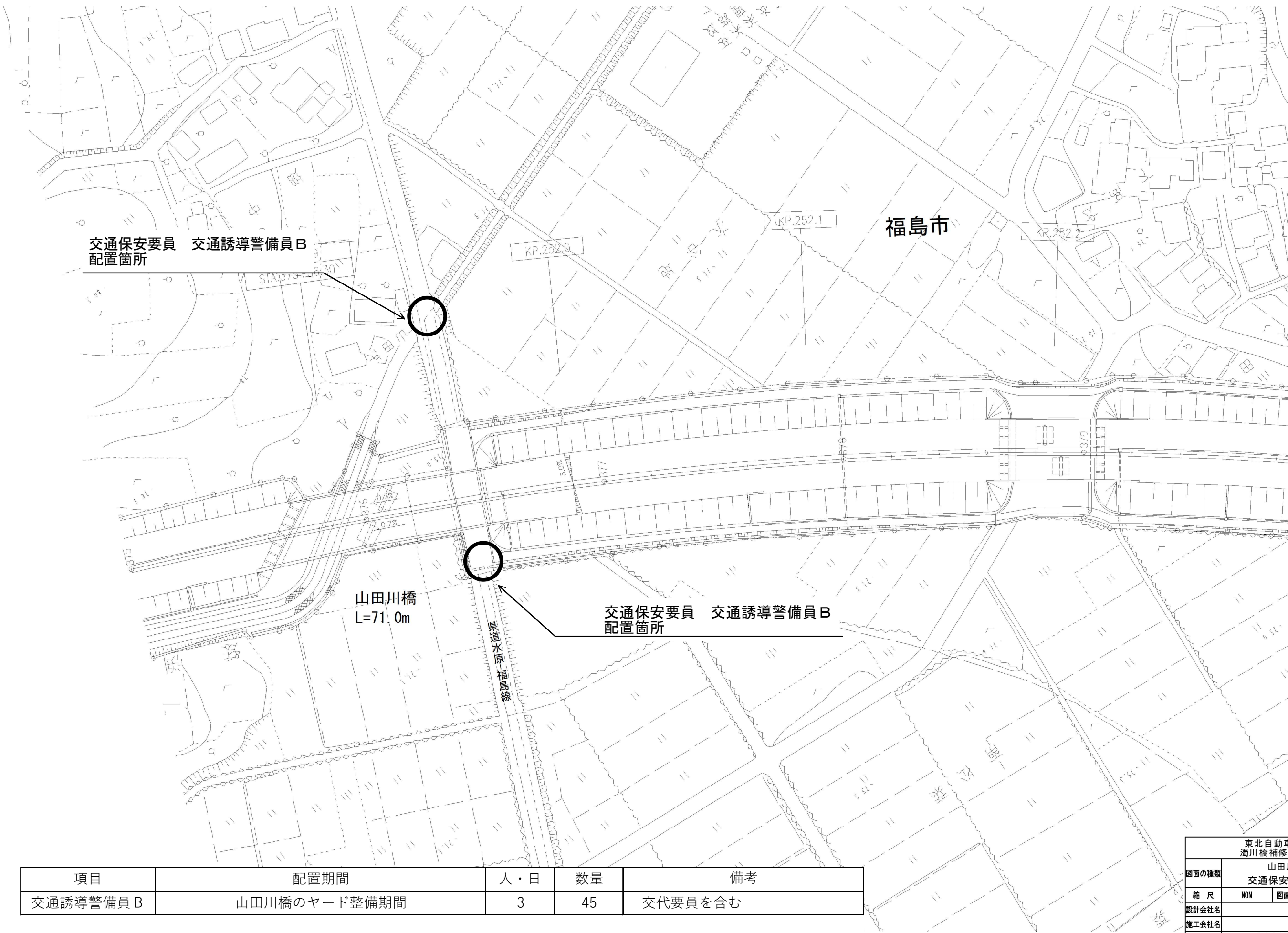




項目	配置期間	人・日	数量	備考
交通誘導警備員 B	資機材搬入、足場設置・撤去時	5	135	交代要員を含む（上り線・下り線 合計）

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	濁川橋 交通保安要員配置図		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

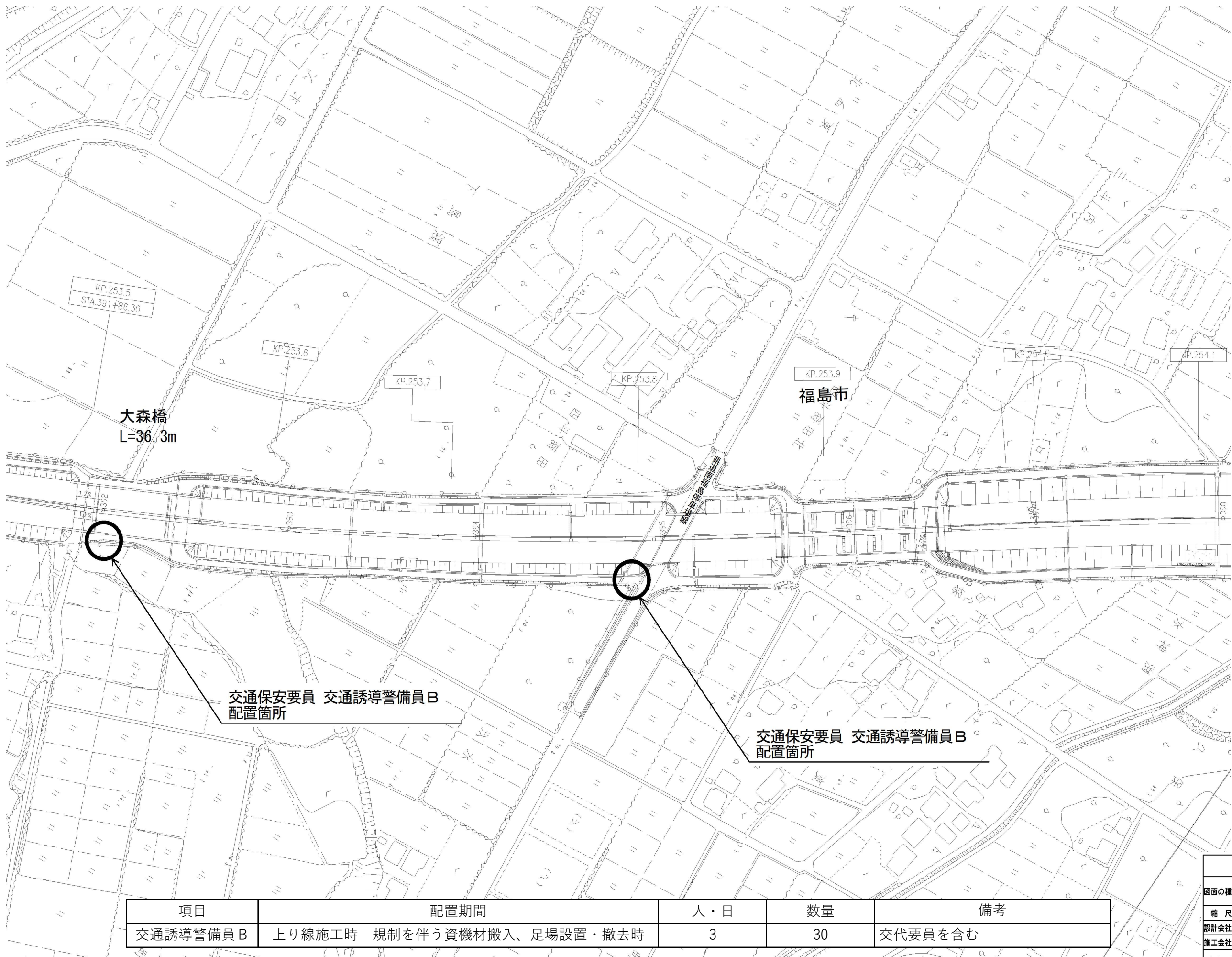




項目	配置期間	人・日	数量	備考
交通誘導警備員 B	山田川橋のヤード整備期間	3	45	交代要員を含む

東北自動車道 濁川橋補修工事			
図面の種類	山田川橋 交通保安要員配置図		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

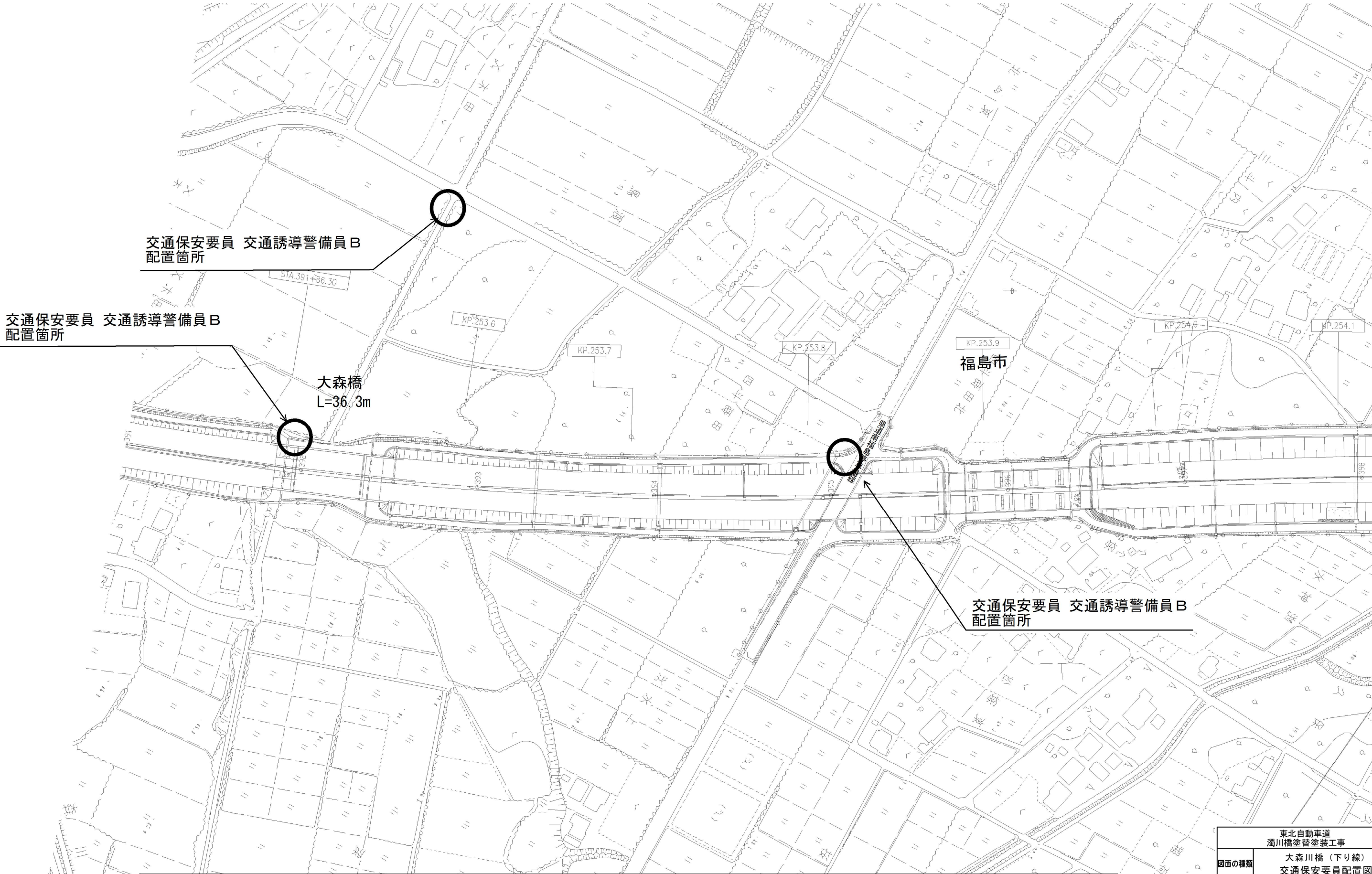




項目	配置期間		人・日	数量	備考
交通誘導警備員 B	上り線施工時	規制を伴う資機材搬入、足場設置・撤去時	3	30	交代要員を含む

東北自動車道 濁川橋塗装工事			
図面の種類	大森川橋（上り線） 交通保安要員配置図		
縮尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		





項目	配置期間	人・日	数量	備考
交通誘導警備員B	下り線施工時 規制を伴う資機材搬入、足場設置・撤去時	4	40	交代要員を含む

東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	大森川橋（下り線） 交通保安要員配置図		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

各橋からの運搬距離

橋 名	運搬距離
濁川橋	4.9km
山田川橋	4.1km



東北自動車道 濁川橋塗替塗装工事			
図面の種類	PCBを含有する廃塗膜の保管場所		
縮 尺	NON	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		